

横須賀市民アンケート報告書

令和8年（2026年）7月

横 須 賀 市

は じ め に

横須賀市では、「横須賀再興プラン（2022～2025）」に基づき、この横須賀で暮らすすべての人々がお互いを認め合い、慈しみあい助け合うことができる「誰も一人にさせないまち」の実現を目指しています。

今回のアンケートでは、市民の皆さまの生活意識や横須賀市の取り組みに対する実感をお伺いしました。

調査で得られた結果は、現在の取り組みの改善や、今後の政策・施策の立案にあたって、基礎的なデータとして活用してまいります。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました市民の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

令和8年（2026年）7月

経営企画部都市戦略課

目次

1. 調査目的および実施方法等	1
1、調査目的および調査項目	2
2、調査概要	3
3、その他	3
2. 集計結果	4
I. 定住意識について	5
問1 あなたは、横須賀市に通算でどのくらいの期間住んでいますか。	5
問2 横須賀市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。	7
問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。	9
問4 あなたは、これからも横須賀市に住み続けたいと思いますか。	12
問4-1 横須賀市に「住み続ける」「たぶん住み続ける」を選んだ理由として、①～③の分野ごとにそれぞれ当てはまるものを選んでください。	17
問4-2 仮に引っ越すとしたら、どこを希望されますか。	22
問4-3 横須賀市から「転居する」「たぶん転居する」を選んだ理由は何ですか。(〇は2つまで)	24
II. 近所の方々や地域とのつき合いについて	28
問5 あなたは、近所の方々と普段どのようなつき合い方をしていますか。	28
問6 あなたは、近所の方々とのかつき合いをどのように感じていますか。	30
問7 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。	32
問8 あなたは、今後、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。	35
III. 生活意識について	36
問9 あなたは、以下の、生活に関するさまざまな分野における満足の度合いについて、「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。	36
問10 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。	39
問11 問10でお伺いした「現在の生活全体の満足度」を判断する際に、重視した事項は何ですか。第1位から第3位の順に、それぞれ1つずつ選んで、番号をお書きください。	40

問 1 2	あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。	41
IV. 幸福度（幸せの実感）について.....		44
問 1 3	現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 1 0 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。	44
問 1 4	幸福感を判断する上で、あなたが重視したのはどんなことですか。次の中から重要だと思うものを選んでください。	45
問 1 5	以下の各項目について、あなたの実感に一番近いものに○をつけてください。	47
V. 横須賀の主な取り組みについて.....		47
問 1 7	あなたは、横須賀市の次のような取り組みについて知っていますか。	48
問 1 8	今の横須賀市で、次の取り組みが進んでいる実感はありますか。	50
問 1 9	次の取り組みの中で、横須賀全体に、良い影響を与えていると感じるものを選んでください。また、その理由もお答えください。	51
問 2 0	以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが十分に行われていると思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。	58
問 2 1	以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが特に力を入れてほしいと思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。	60
3.	基本的な属性	62
4.	調査票	67

1. 調査目的および実施方法等

1、調査目的および調査項目

市民の生活意識や横須賀市の取り組みに対する実感を把握し、今後の市政運営や政策立案の基礎資料として活用するため、以下の項目についてアンケート調査を実施した。

【調査項目】

設問番号	項目
基本的な属性	
F1～F8	F1 性別、F2 年齢、F3 居住地域、F4 結婚の有無、 F5 世帯構成、F6 同居状況、F7 住宅形態、F8 職業
I. 定住意識について	
問1～4	「居住年数、前住地、現住地定住意向、定住や転居理由など」について
II. 近所の方々や地域とのつき合いについて	
問5～8	「近所の方々とのつき合い方や地域との関わりなど」について
III. 生活意識について	
問9～12	「生活満足度や心配ごとや困っていることなど」について
IV. 幸福度（幸せの実感）について	
問13～15	「市の具体的な取り組みに対する認知度や満足度」について
V. 市政に対する評価と要望について	
問17～21	「市の具体的な取り組みに対する認知度や満足度」について

2、調査概要

調査対象	15 歳以上～89 歳以下の市民 3,000 人 (令和 7 年 (2025 年) 1 月 1 日現在：住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	・対象者に調査票を郵送配布 ・回答方法は、郵送とインターネットのいずれかを選択
調査期間	令和 7 年 4 月 7 日～4 月 27 日 ※発送日－投函締切日
回収数	1,453 件 うち、インターネット回答；346 件
回収率	48.4% うち、インターネット回答；23.8%

3、その他

調査の企画・分析は、経営企画部都市戦略課で実施した。

基数となるべき実数は、各設問に対する有効回答者数である。

なお、結果数値は、表章単位未満を四捨五入しているので、内訳の合計が計（100.0%）にならないことがある。また、複数回答の設問では、割合の合計が 100.0%を超える。

2. 集計結果

I. 定住意識について

問1 あなたは、横須賀市に通算でどのくらいの期間住んでいますか。(〇は1つ)

- 居住年数が20年以上の「長期居住者(計)¹⁾」(77.7%)は、8割に近い。
そのうち約半数が50年以上になっている。このボリュームが大きいのは、今から約50年前に、市内各地域で多くの住宅供給が行われ、その場所にずっと住み続けている人が多いということが背景にあると考えられる。
- 5年以上20年未満の「中期居住者(計)²⁾」(15.4%)は、約1.5割。
- 5年未満の「短期居住者(計)³⁾」(6.9%)は1割に満たない。
- 短期、中期、長期それぞれの居住者割合は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

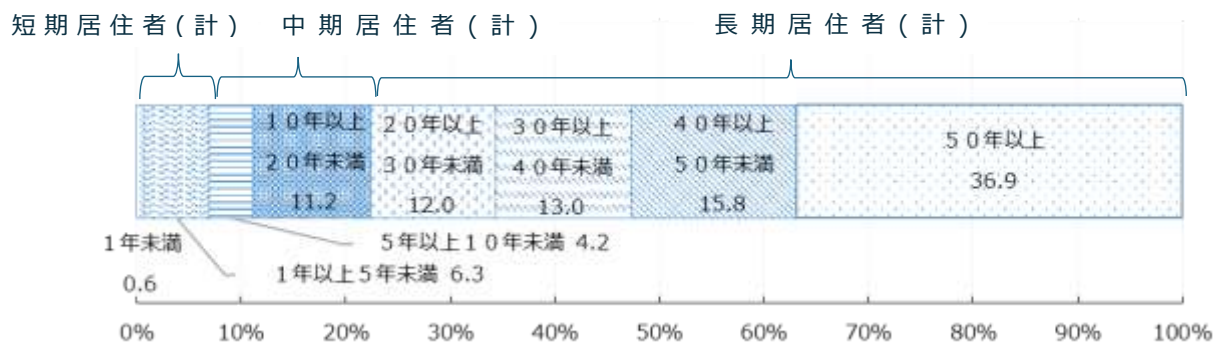
【今回調査】

長期居住者(計) 77.7%、中期居住者(計) 15.4%、短期居住者(計) 6.9%

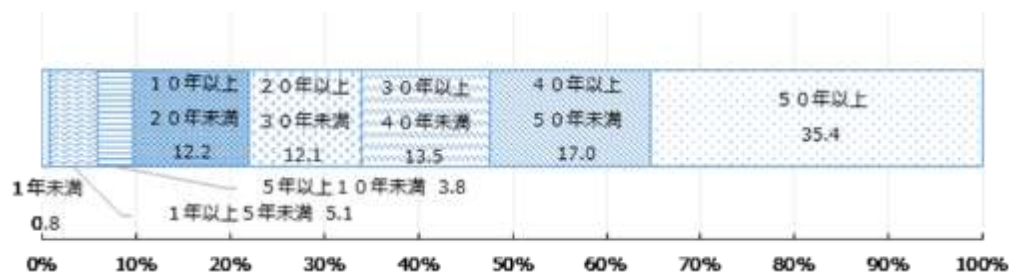
【前回調査(令和4年度実施)】

長期居住者(計) 78.0%、中期居住者(計) 16.0%、短期居住者(計) 5.9%

問1. 居住年数 (N=1,442人)



前回調査(令和4年度実施) 居住年数 (N=1,455人)



¹⁾ 「20年以上30年未満」「30年以上40年未満」「40年以上50年未満」「50年以上」の計

²⁾ 「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」の計

³⁾ 「1年未満」「1年以上5年未満」の計

【居住地域×居住年数】

- すべての地域で、居住年数が20年以上の長期居住者の割合は約7～8割と高く、横須賀に長く住んでいる市民が多いことがわかる。
- 地域別にみると、ばらつきが見られる。特に、北部では、比較的低い。田浦・逸見地区は、自衛隊の影響が考えられる。追浜地域では、20年以内にマンション供給が多く行われた影響、また、日産工場があることによる影響や、横浜に隣接している影響などがあると考えられる。



問2 横須賀市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

- 「生まれてからずっと横須賀に住んでいる」(35.3%) が最も多く、次いで「横浜市」(20.2%) となっている。
- 「県内からの転入⁴」のうち「横浜市」以外からの転入は14.5%。
- 「県外からの転入⁵」のうち、東京都など首都圏からの転入は13.1%、その他が17.0%。
県外からの転入が一定の割合であるのは、市内に自衛隊関連施設や、かつての住宅供給による転入が影響していると考えられる。
- 回答傾向は、前回調査（令和4年度実施）と、ほぼ変わらない。

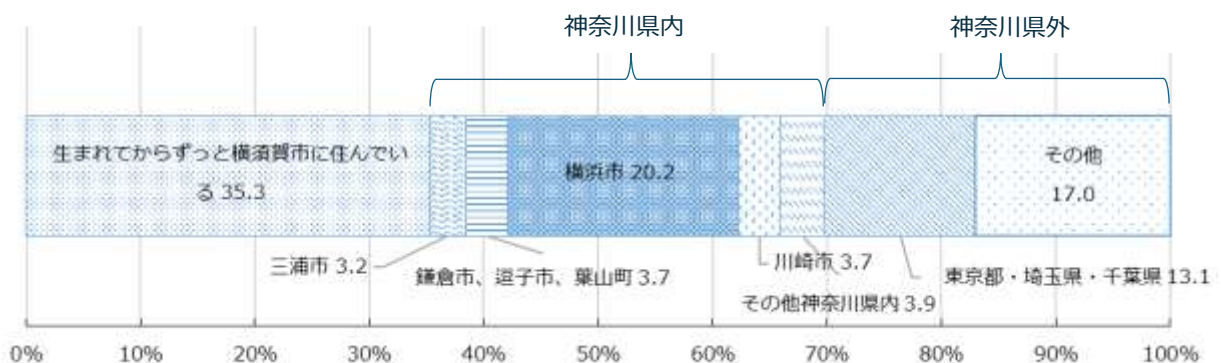
【今回調査】

生まれてから横須賀在住 35.3%、県内から転入 34.7%、県外から転入 30.1%

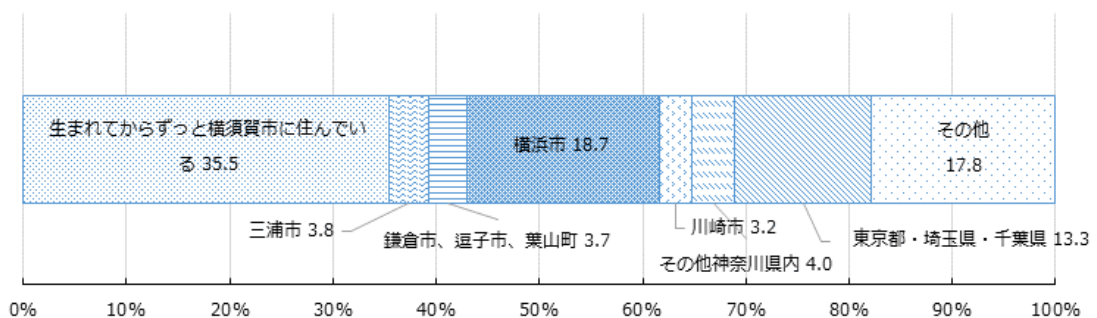
【前回調査（令和4年度実施）】

生まれてから横須賀在住 35.5%、県内から転入 33.4%、県外から転入 31.1%

問2. 横須賀市に住む前の住まい (N=1,423 人)



前回調査（令和4年度実施） 前住地 (N=1,433 人)

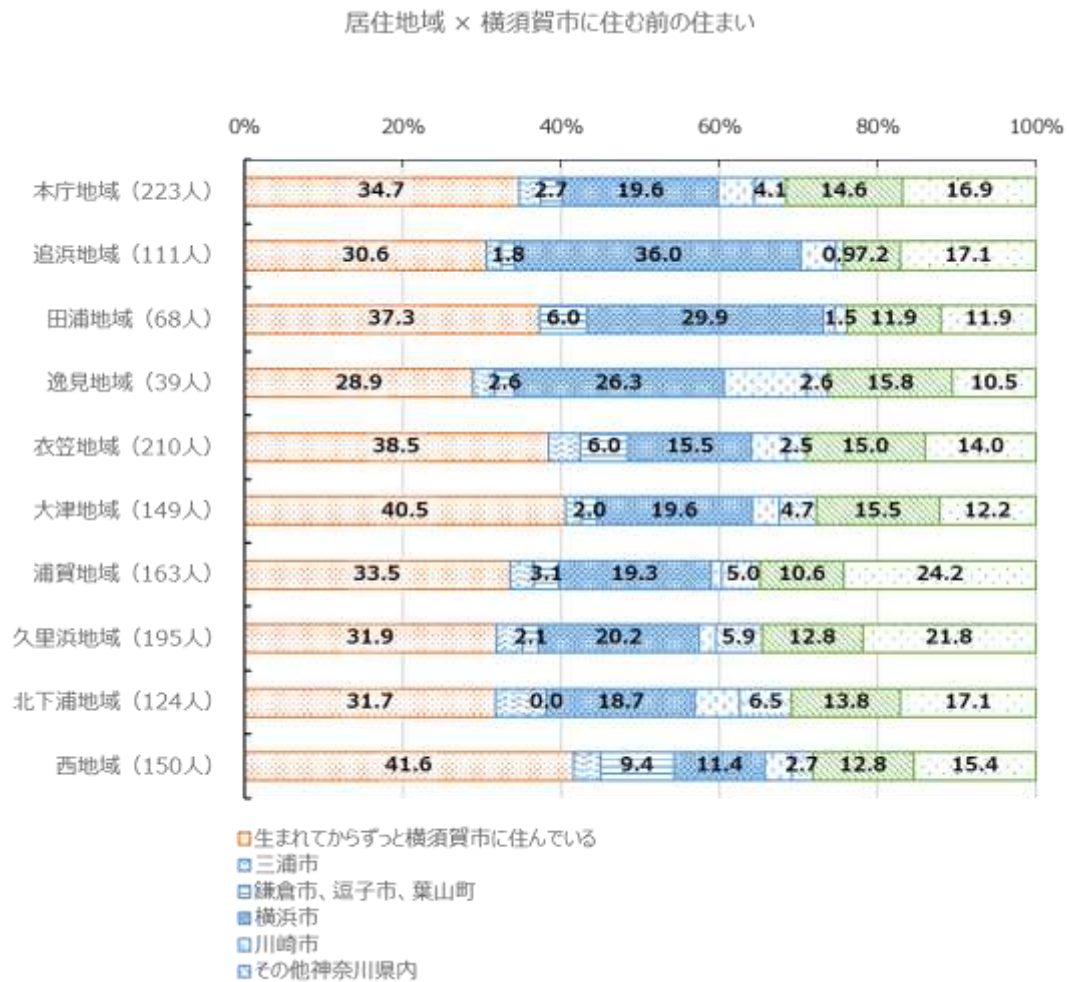


⁴ 「三浦市」「鎌倉市、逗子市、葉山町」「横浜市」「川崎市」「その他神奈川県内」の計

⁵ 「東京都・埼玉県・千葉県」「その他」の計

【居住地域×横須賀市に住む前の住まい】

- 追浜地域を除くすべての地域で、「生まれてからずっと横須賀市に住んでいる」の割合が最も多い。
- 市内でも都心などへのアクセスが比較的良好な追浜や田浦地域など、市内北部地域では、横浜市からの転入者が多い傾向にある。



問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

- ・ 『暮らしやすい(計)』⁶ (75.1%) は、7割強。
- ・ 『暮らしにくい(計)』⁷ (10.0%) は、1割。
- ・ 回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

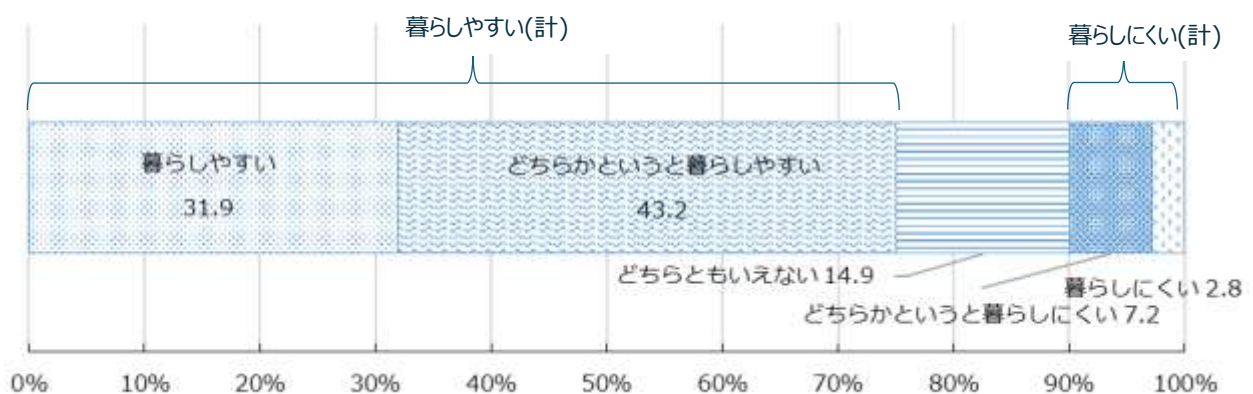
【今回調査】

暮らしやすい(計) 75.1%、どちらともいえない 14.9%、暮らしにくい(計) 10.0%

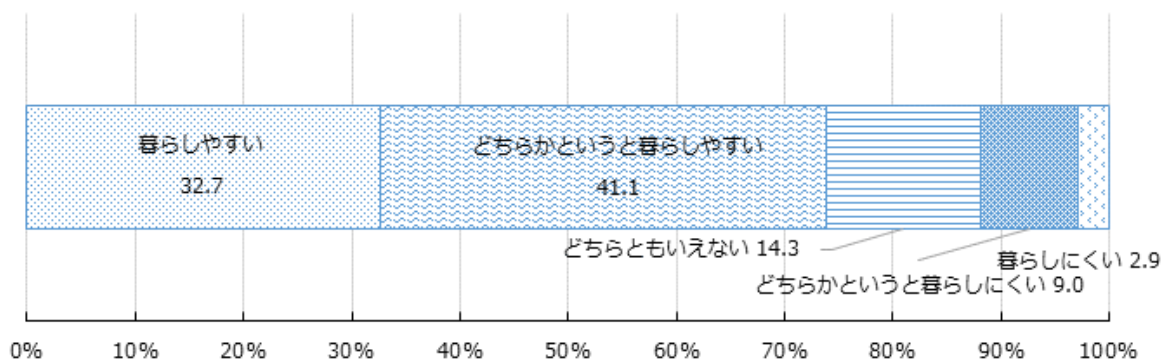
【前回調査(令和4年度実施)】

暮らしやすい(計) 73.8%、どちらともいえない 14.3%、暮らしにくい(計) 11.9%

問3. 暮らしやすさ (N=1,440 人)



前回調査(令和4年度実施) 暮らしやすさ (N=1,455 人)

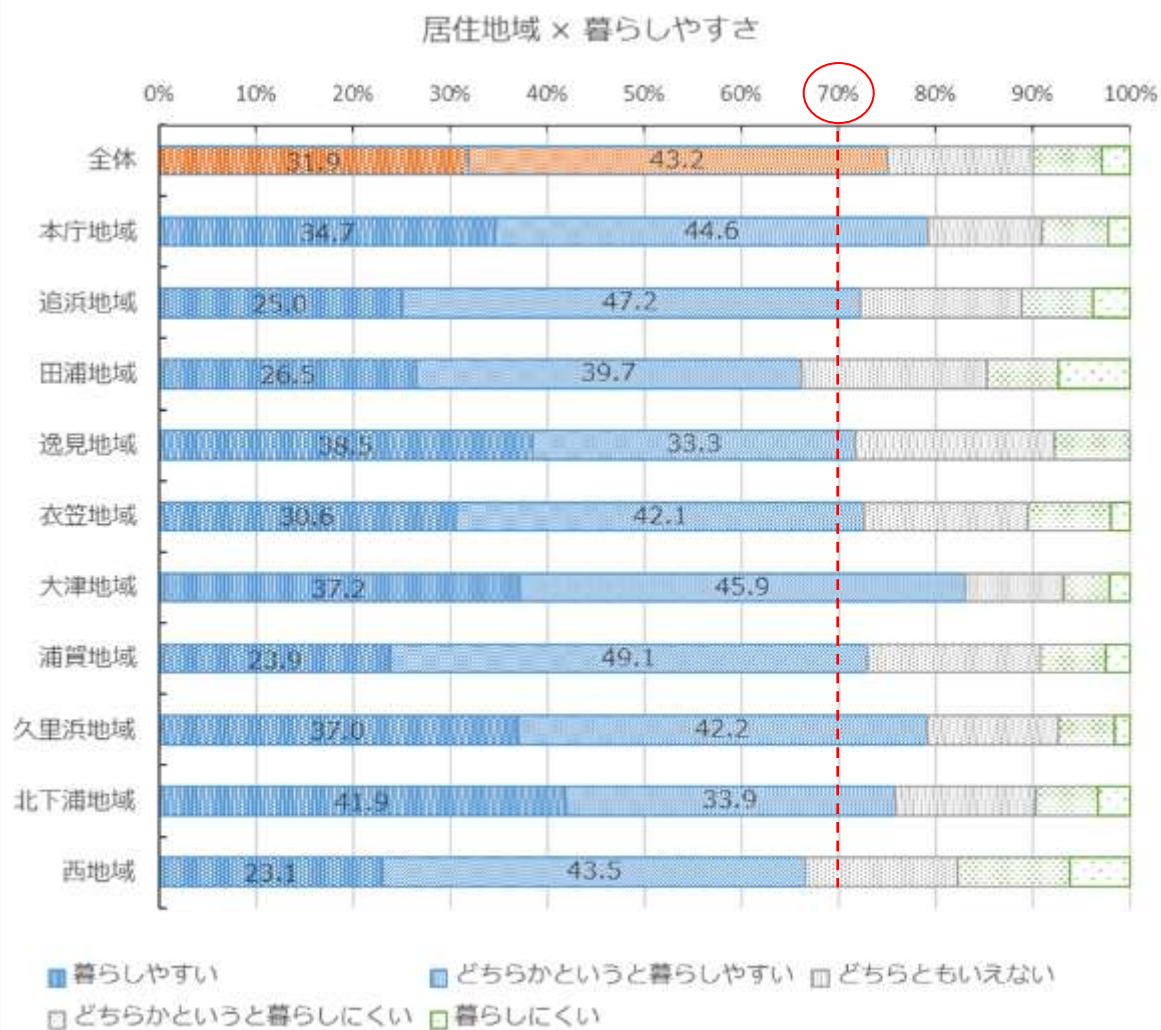


⁶ 「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」の計

⁷ 「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」の計

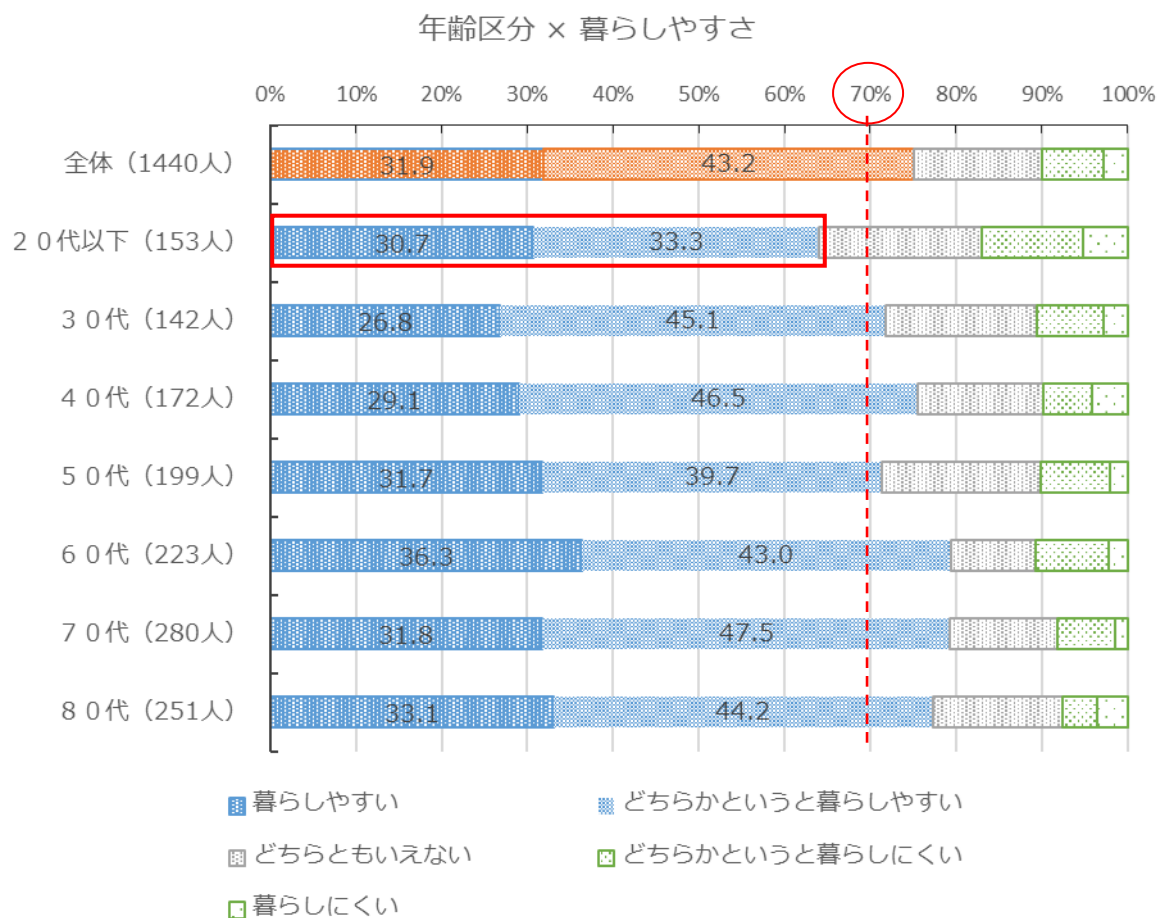
【居住地域×暮らしやすさ】

- ほとんどの地域で、『暮らしやすい（計）』の回答割合が、7割前後。
- 特に、「本庁地域（79.3%）」「大津地域（83.1%）」「久里浜（79.2%）」は、『暮らしやすい（計）』の回答が、約8割と大きい。



【年齢区分×暮らしやすさ】

- ほとんどの年代で、『暮らしやすい（計）』の回答割合が、7割前後。
- そのなかで、20代以下（64.0%）は、約6割とやや低い。内訳を見ると、『暮らしやすい（計）』は全体と同程度である一方、「どちらかという暮らしやすい」の割合が低く、「どちらともいえない」、「暮らしにくい（計）」の割合が相対的に高い。若年層における暮らしやすさの受け止めは、他年代と比べてばらつきがある様子がうかがえる。



問4 あなたは、これからも横須賀市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- ・ 『住み続ける(計)⁸』(79.2%)の回答は、約8割。
- ・ 『転居する(計)⁹』(10.2%)の回答は、1割。
- ・ 回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

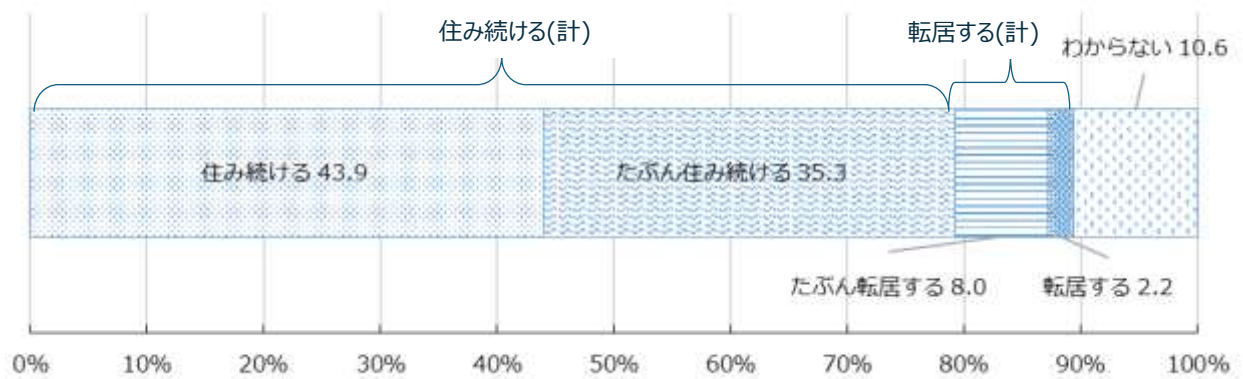
【今回調査】

住み続ける(計) 79.2%、転居する(計) 10.2%、わからない 10.6%

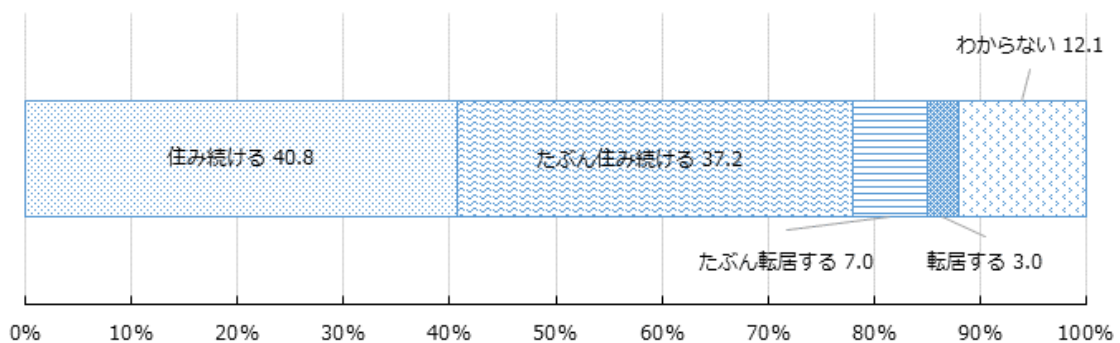
【前回調査(令和4年度実施)】

住み続ける(計) 78.0%、転居する(計) 10.0%、わからない 12.1%

問4. 定住意向(N=1,373人)



前回調査(令和4年度実施) 定住意向(N=1,410)



⁸ 「住み続ける」「たぶん住み続ける」の計

⁹ 「たぶん転居する」「転居する」の計

【年齢区分×定住意向】

- 定住意向は、年齢が上がるにつれて、強くなる傾向がみられ、40代以上では、7割以上が『住み続ける（計）』を選択している。
- 一方、20代では、5割を下回る。この世代は、進学・就職など、ライフステージが大きく変化する時期であり、そうしたことが定住意向に影響していることが推察される。
- 回答傾向は、前回調査（令和4年度実施）とほぼ変わらない。

【今回調査】

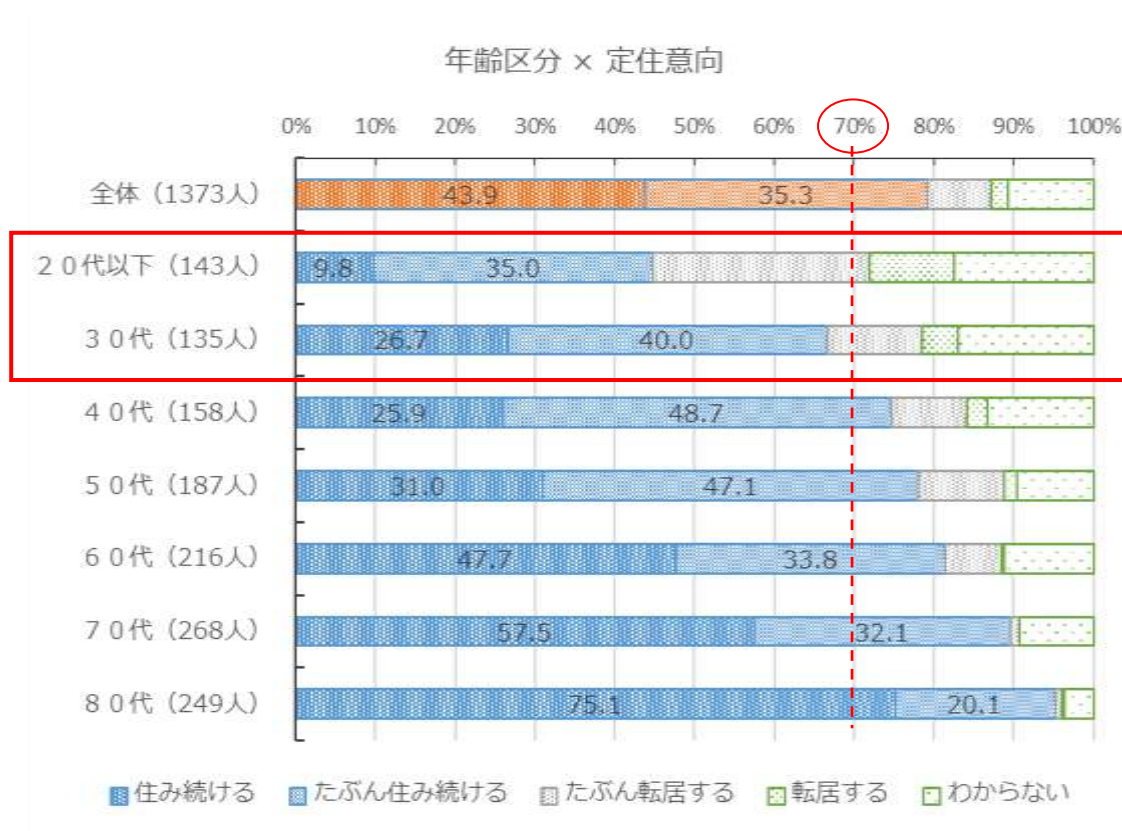
住み続ける（計） 20代以下：44.8% 30代：66.7%

転居する（計） 20代以下：37.8% 30代：16.3%

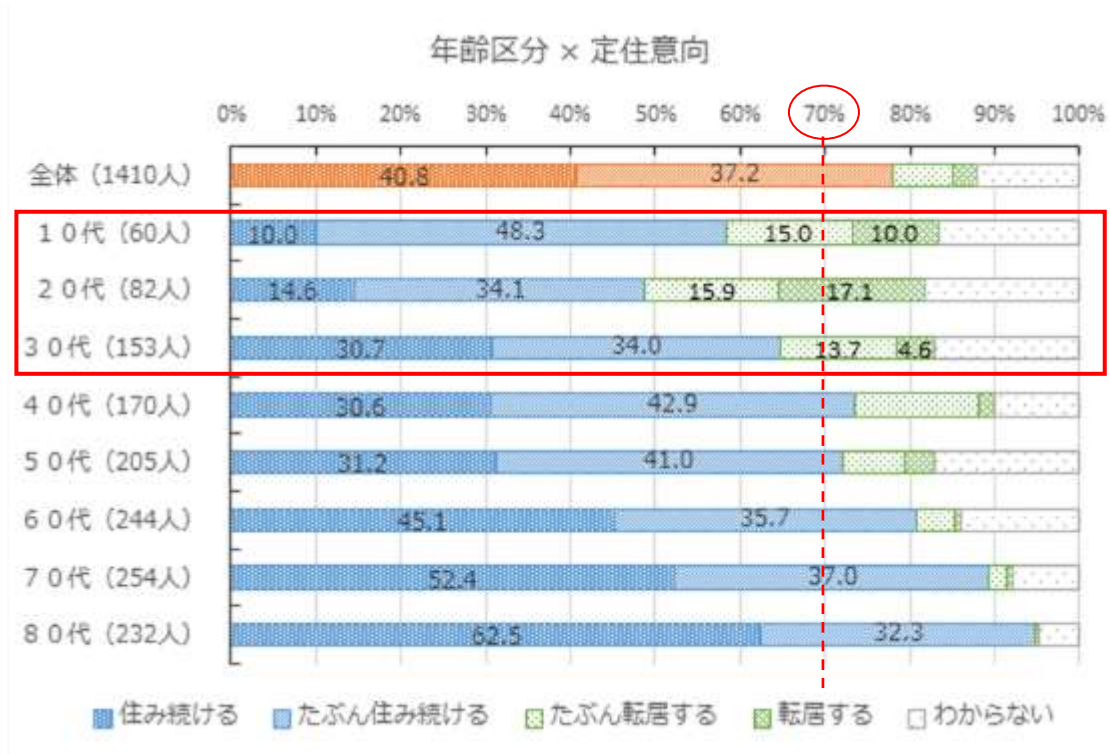
【前回調査（令和4年度実施）】

住み続ける（計） 20代以下：52.8% 30代：64.7%

転居する（計） 20代以下：29.6% 30代：18.3%

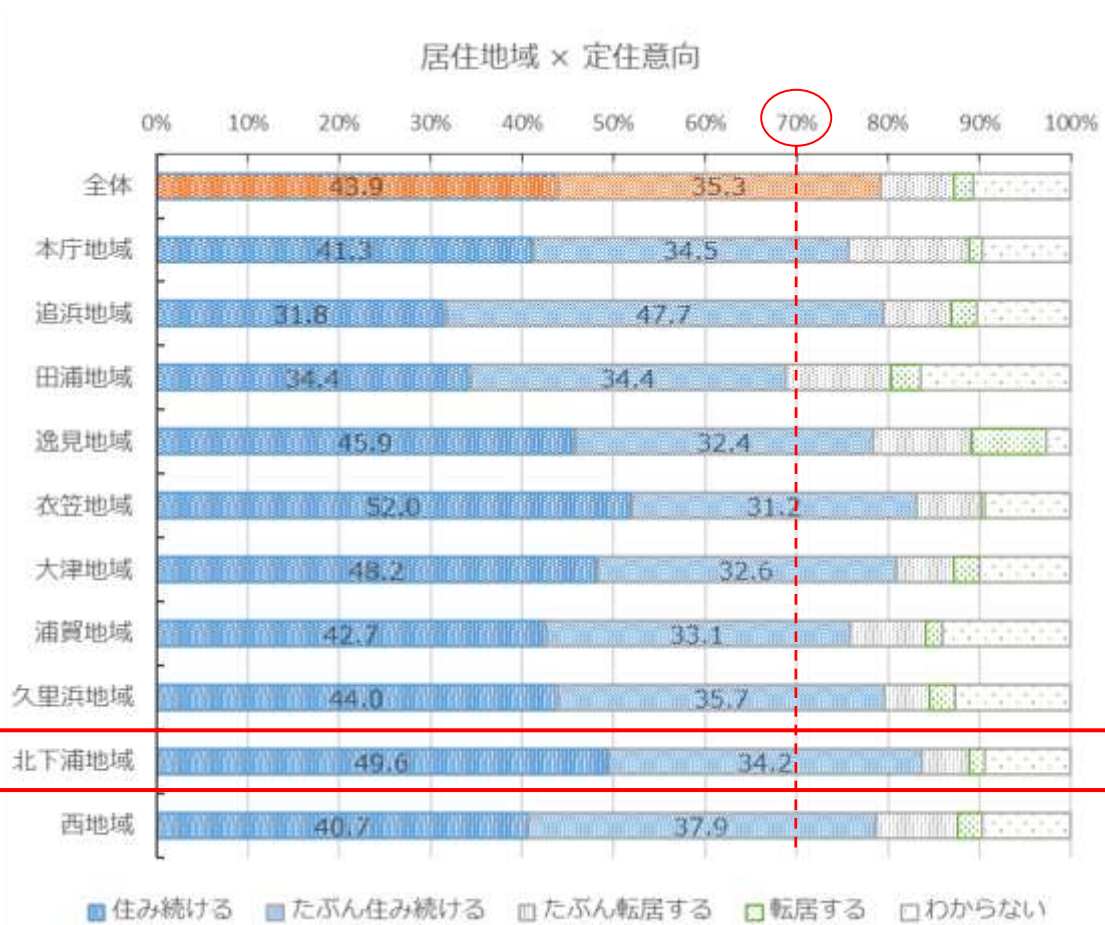


【前回調査（令和4年度実施）】

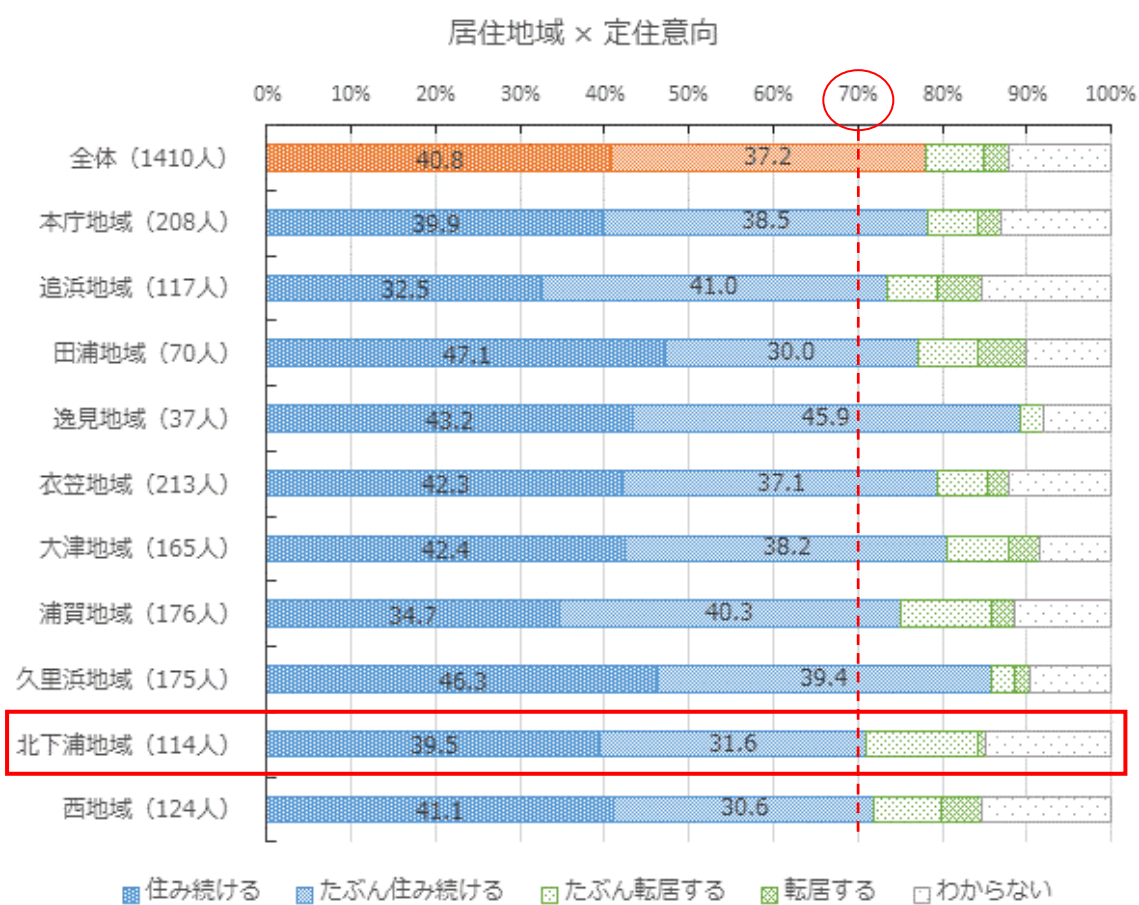


【居住地域×定住意向】

- ほとんどの地域で『住み続ける（計）』が7割を超えている。
- 特に、北下浦地域は、前回調査から、『住み続ける（計）』（71.1%→83.8%）が、12.7ポイント増え、定住意向の高まりがみられる。背景の一つとして、近年、日用品や食品を扱う店舗の開設などにより、日常的な買い物環境が一定程度改善してきたことが影響している可能性がある。



【前回調査（令和4年度実施）】

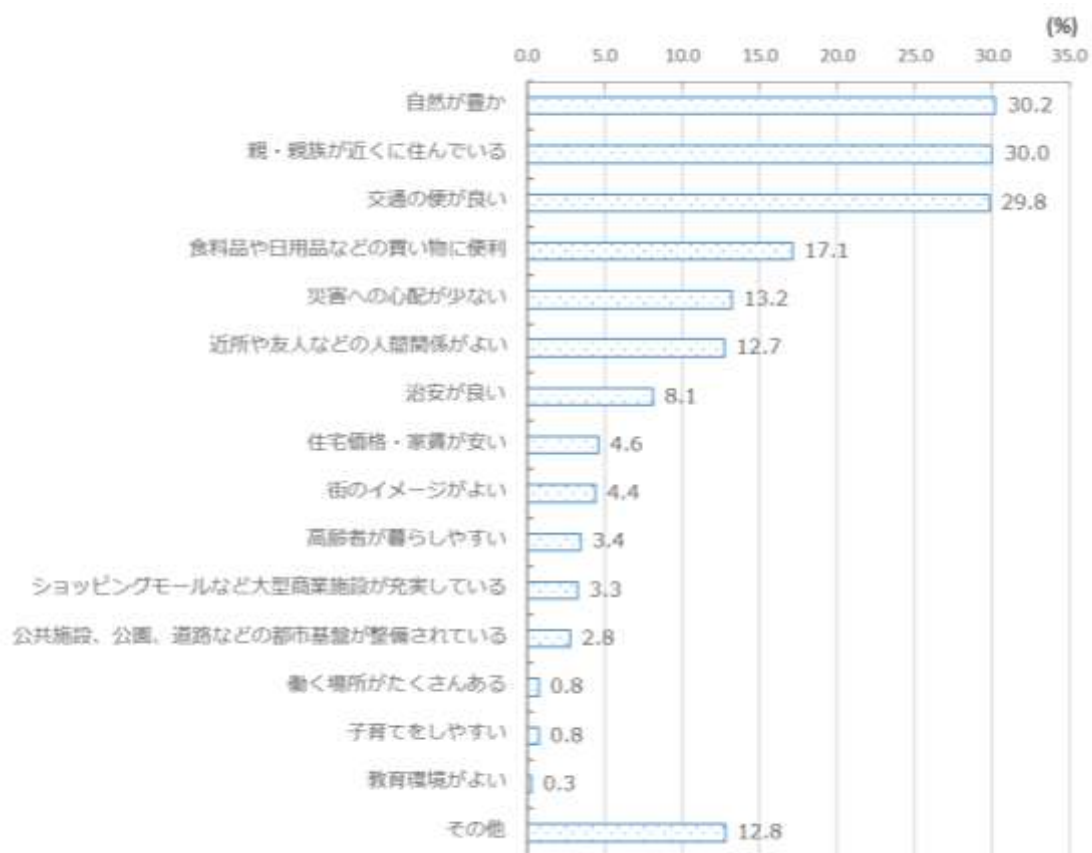


【問４で、「住み続ける」「たぶん住み続ける」を選んだ方に】

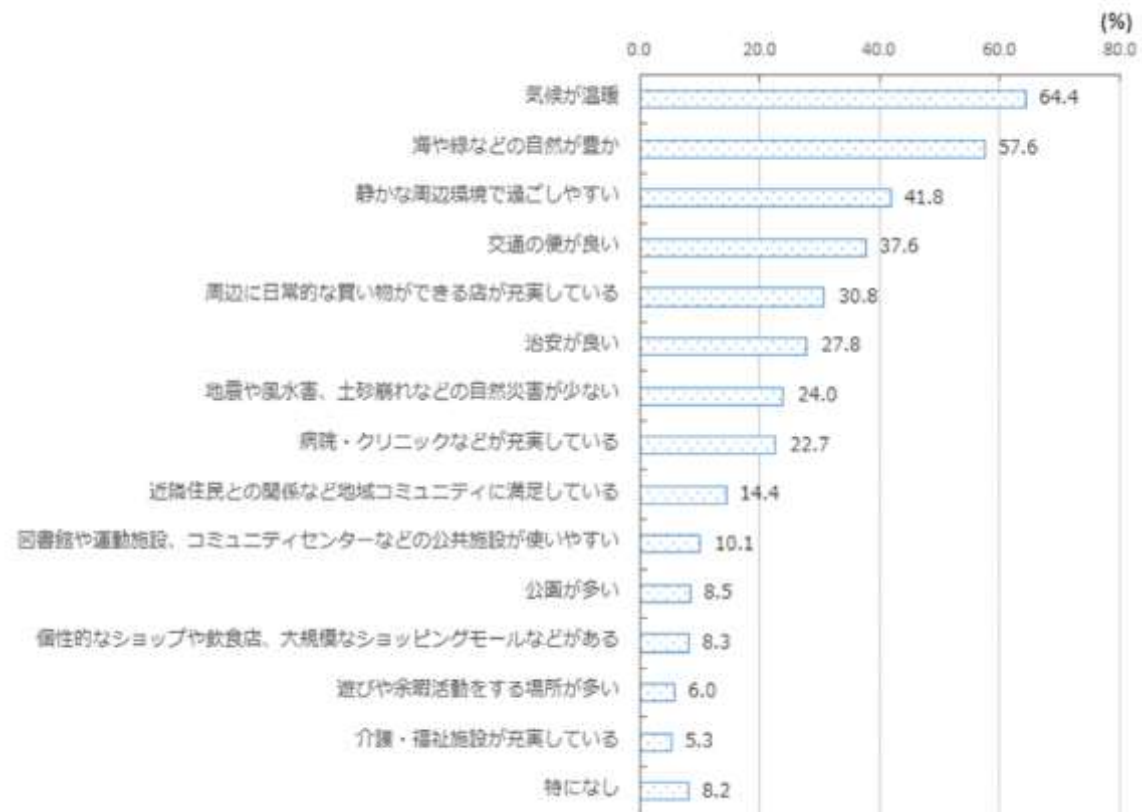
問４－１ 横須賀市に「住み続ける」「たぶん住み続ける」を選んだ理由として、①～③の分野ごとにそれぞれ当てはまるものを選んでください。

- ・ 「自然が豊か」（30.2%）、「親・親族が近くにいる」（30.0%）、「交通の便が良い」（29.8%）の順。
- ・ 選択項目が異なるため、単純比較はできないが、自然環境や交通利便性が上位に選ばれているなど、回答傾向は、前回調査（令和４年度実施）と概ね同様である。

問４－１．定住意向理由（複数回答）（N=1,046）



【前回調査（令和4年度実施）】



【年齢区分×定住意向】

- ・ 上位3つの理由については、年齢による回答傾向に大きな差異はない。
- ・ どの年代においても、交通の便の良さ、自然の豊かさといった項目が上位に選択されており、横須賀の恵まれた環境が、定住意向につながっているものと考えられる。
- ・ 40代以下では、半数以上が「親・親族が近くに住んでいる」を選択している。

	20代以下 (62人)	%	30代 (86人)	%	40代 (110人)	%	50代 (140人)	%
1位	親・親族が近くに 住んでいる	56.5	親・親族が近くに 住んでいる	51.2	親・親族が近くに 住んでいる	50.9	親・親族が近くに 住んでいる	36.4
2位	交通の便が良い	27.4	交通の便が良い	23.3	交通の便が良い	24.5	自然が豊か	34.3
3位	自然が豊か	24.2	自然が豊か	19.8	自然が豊か	21.8	交通の便が良い	23.6
4位	街のイメージがよ い	11.3	食料品や日用品な どの買い物に便利	15.1	食料品や日用品な どの買い物に便利	17.3	食料品や日用品な どの買い物に便利	12.9
5位	住宅価格・家賃が 安い	11.3	治安が良い	9.3	近所や友人などの 人間関係がよい	15.5	近所や友人などの 人間関係がよい	10.7

	60代 (171人)	%	70代 (235人)	%	80代 (226人)	%
1位	交通の便が良い	33.3	交通の便が良い	39.6	自然が豊か	29.2
2位	自然が豊か	32.7	自然が豊か	35.7	交通の便が良い	26.5
3位	親・親族が近くに 住んでいる	27.5	食料品や日用品な どの買い物に便利	21.7	災害への心配が少 ない	23.9
4位	食料品や日用品な どの買い物に便利	18.1	災害への心配が少 ない	18.7	親・親族が近くに 住んでいる	21.2
5位	近所や友人などの 人間関係がよい	10.5	近所や友人などの 人間関係がよい	14.5	食料品や日用品な どの買い物に便利	17.3

【居住地域×定住意向】

- 地域別にみても、すべての地域で、「親・親族が近くに住んでいる」「交通の便が良い」「自然が豊か」が上位理由となっている。
- 西地域においては、「交通の便が良い」は選択されていない。最寄り駅まで距離があり、バスや乗用車などが交通手段の中心であることが影響していると考えられる。

	本庁地域 (151人)	%	追浜地域 (82人)	%	田浦地域 (41人)	%	逸見地域 (28人)	%	衣笠地域 (158人)	%
1位	交通の便が良い	45.7	交通の便が良い	35.4	交通の便が良い	39.0	交通の便が良い	50.0	親・親族が近くに住んでいる	35.4
2位	親・親族が近くに住んでいる	27.8	自然が豊か	31.7	親・親族が近くに住んでいる	34.1	親・親族が近くに住んでいる	28.6	自然が豊か	29.7
3位	食料品や日用品などの買い物に便利	26.5	親・親族が近くに住んでいる	20.7	自然が豊か	29.3	自然が豊か	17.9	食料品や日用品などの買い物に便利	20.3
4位	自然が豊か	17.2	食料品や日用品などの買い物に便利	13.4	近所や友人などの人間関係がよい	22.0	災害への心配が少ない	17.9	交通の便が良い	19.6
5位	災害への心配が少ない	12.6	治安が良い	13.4	街のイメージがよい	9.8	近所や友人などの人間関係がよい	14.3	災害への心配が少ない	19.6
							食料品や日用品などの買い物に便利	14.3		

	大津地域 (111人)	%	浦賀地域 (112人)	%	久里浜地域 (141人)	%	北下浦地域 (95人)	%	西地域 (110人)	%
1位	交通の便が良い	38.7	親・親族が近くに住んでいる	34.8	交通の便が良い	35.5	自然が豊か	42.1	自然が豊か	50.0
2位	親・親族が近くに住んでいる	27.9	自然が豊か	33.0	親・親族が近くに住んでいる	28.4	交通の便が良い	30.5	親・親族が近くに住んでいる	36.4
3位	自然が豊か	24.3	交通の便が良い	18.8	自然が豊か	24.1	親・親族が近くに住んでいる	26.3	食料品や日用品などの買い物に便利	15.5
4位	食料品や日用品などの買い物に便利	16.2	災害への心配が少ない	16.1	食料品や日用品などの買い物に便利	17.0	食料品や日用品などの買い物に便利	12.6	近所や友人などの人間関係がよい	14.5
5位	災害への心配が少ない	15.3	食料品や日用品などの買い物に便利	13.4	近所や友人などの人間関係がよい	14.2	近所や友人などの人間関係がよい	12.6	治安が良い	10.0

参考 20～40 代の主な定住意向（その他欄の具体的記述から抜粋）

20 代の定住意向

- ・ 市内にやりたい仕事ができる会社があるから
- ・ 職場が近いから
- ・ 引っ越す理由がないため

30 代の定住意向

- ・ 住み慣れた場所で居心地が良い
- ・ 釣りが趣味なので、海にアクセスがよく魚の影も濃い
- ・ 職場が近いため
- ・ 小さい頃から住んでいるし離れるというイメージがない。
- ・ 産まれた土地だから
- ・ 夫の地元であるため
- ・ 持ち家のため
- ・ 転出する費用と手間を考えると市外に出ようとは思わない
- ・ 予算的に難しい

40 代の定住意向

- ・ 気候が暖かいため
- ・ 通院先の病院を変えたくない
- ・ 住み慣れた環境をはなれたくない。慣れ親しんだ場所だから
- ・ 職場が近いから
- ・ 持ち家のため

【問４で、転居意向のある方に】

問４－２ 仮に引っ越すとしたら、どこを希望されますか。（○は１つ）

- ・ 引っ越し先の希望がある（63.4％）は、約６割。
- ・ 希望先の内訳をみると、神奈川県内（56.5％）が最も多く、５割を超える。このうち「横浜市」を選択した割合は、８割程度。
- ・ 回答傾向は、前回調査（令和４年度実施）とほぼ変わらない。

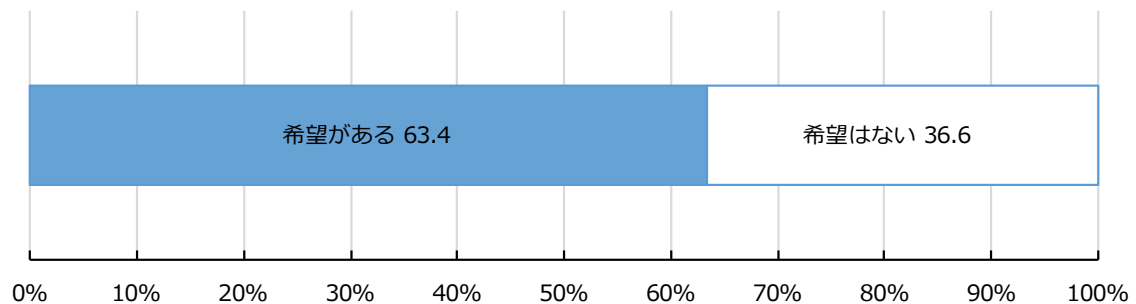
【今回調査】

希望がある 63.4％、希望はない 36.6％、引っ越しの希望先に、神奈川県内を選択した割合 56.5％（うち横浜市 77.1％）

【前回調査（令和４年度実施）】

希望がある 61.2％、希望はない 38.8％、引っ越しの希望先に、神奈川県内を選択した割合 57.1％（うち横浜市 64.6％）

問４－２．引っ越し先の希望（N=134人）

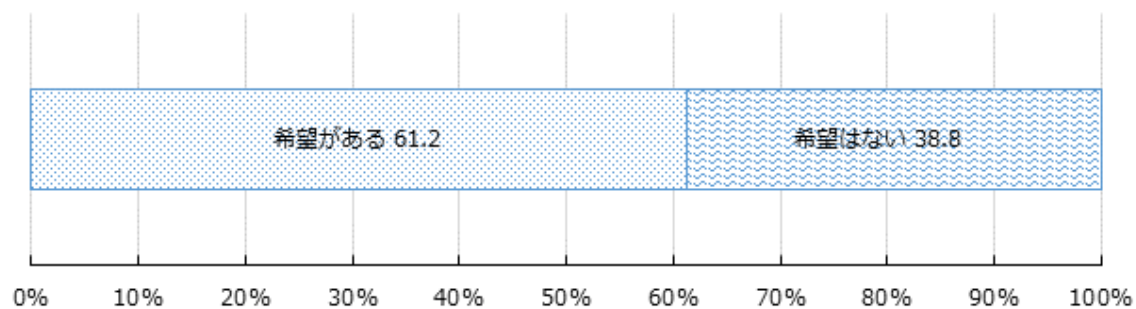


引っ越し先の希望	件数	割合 (%)
神奈川県	48	56.5%
東京都	11	12.9%
その他	26	30.6%
合計	85	100%



神奈川県内のうち、
横浜市の選択割合は、約８割。

【前回調査（令和4年度実施）】



引っ越し先の希望	(件)	(%)
神奈川県	48	57.1
東京都	9	10.7
その他	27	32.1
計	84	100

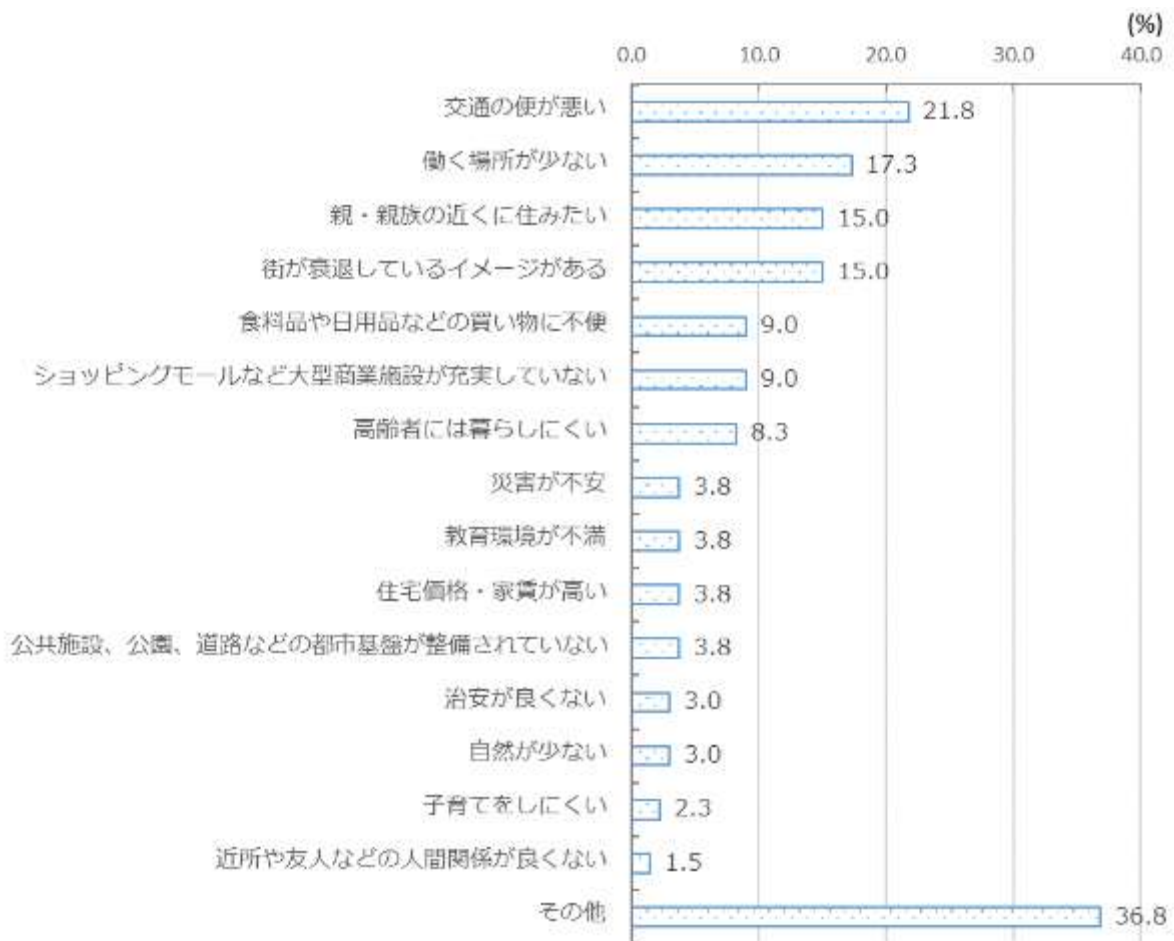


神奈川県内のうち、
横浜市の選択割合は、約6割。

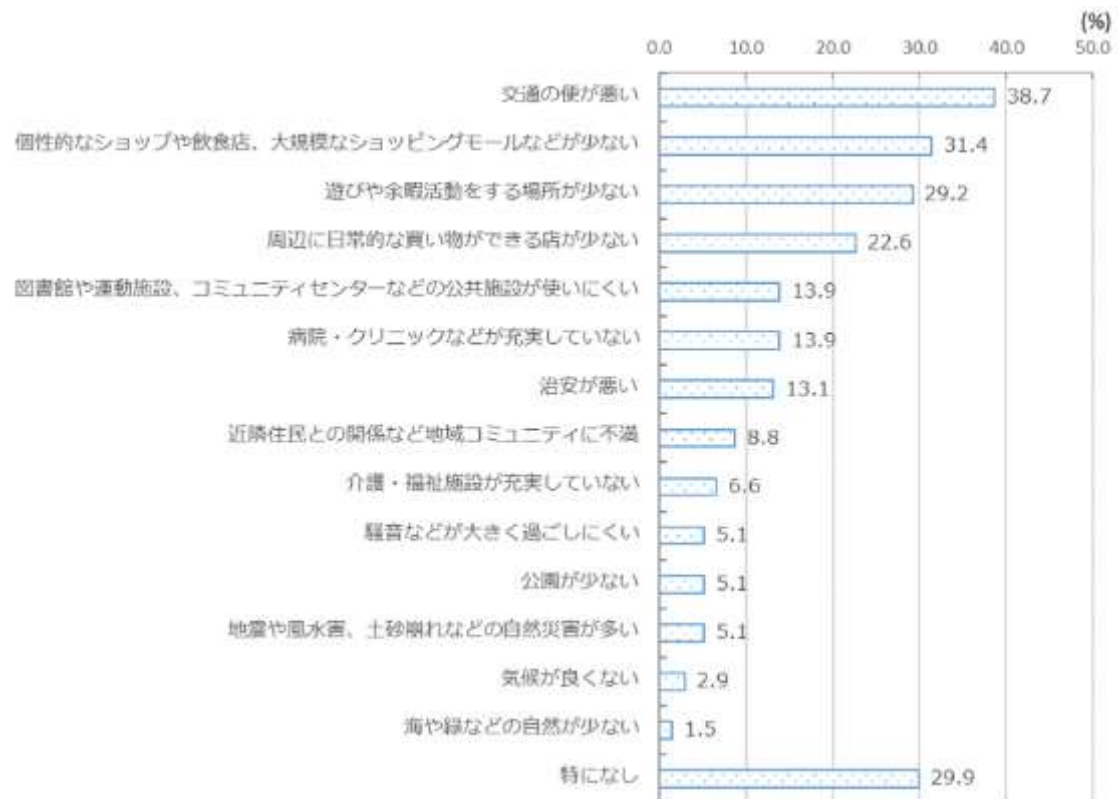
問４－３ 横須賀市から「転居する」「たぶん転居する」を選んだ理由は何ですか。（〇は２つまで）

- 「交通の便が悪い」（21.8%）、「働く場所が少ない」（17.3%）、「親・親族の近くに住みたい」（15.0%）、「街が衰退しているイメージがある」（15.0%）の順。
- 選択項目が異なるため、単純比較はできないが、「交通の便が悪い」が上位に選ばれているなど、回答傾向は、前回調査（令和４年度実施）と概ね同様である。

問４－３．転居意向理由（複数回答）（N=133 人）



【前回調査（令和４年度実施）】



【年齢区分×転居意向】

- 年代別に見ると、選択に、ばらつきがある。
- 特に、40代以下では「交通の便が悪い」が上位に選択されている。

	20代以下 (53人)	%	30代 (22人)	%	40代 (18人)	%	50代 (21人)	%
1位	交通の便が悪い	30.2	親・親族の近くに住みたい	18.2	交通の便が悪い	27.8	街が衰退しているイメージがある	38.1
2位	働く場所が少ない	28.3	交通の便が悪い	13.6	街が衰退しているイメージがある	27.8	親・親族の近くに住みたい	23.8
3位	食料品や日用品などの買い物に不便	13.2	自然が少ない	13.6	親・親族の近くに住みたい	16.7	働く場所が少ない	19.0
4位	ショッピングモールなど大型商業施設が充実していない	13.2	食料品や日用品などの買い物に不便	9.1	災害が不安	11.1	高齢者には暮らしにくい	14.3
5位	街が衰退しているイメージがある	9.4	街が衰退しているイメージがある	9.1	高齢者には暮らしにくい	11.1	交通の便が悪い	9.5
	—		ショッピングモールなど大型商業施設が充実していない	9.1	公共施設、公園、道路などの都市基盤が整備されていない	11.1	—	
	—		子育てをしにくい	9.1	—		—	

	60代 (14人)	%	70代 (3人)	%	80代 (2人)	%
1位	働く場所が少ない	21.4	高齢者には暮らしにくい	100.0	親・親族の近くに住みたい	50.0
2位	親・親族の近くに住みたい	21.4	交通の便が悪い	33.3	高齢者には暮らしにくい	50.0
3位	住宅価格・家賃が高い	21.4	食料品や日用品などの買い物に不便	33.3	—	
4位	交通の便が悪い	14.3	—		—	
5位	ショッピングモールなど大型商業施設が充実していない	14.3	—		—	
	高齢者には暮らしにくい	14.3	—		—	

参考 20～40 代の転居意向（その他欄の具体的記述から抜粋）

20 代の転居意向

- 仕事の都合
- 人口が減っている。
- 違う地域に住んでみたいから。

30 代の転居意向

- 仕事の都合
- 通勤時間を短縮したい。
- キャンプ場がない。
- 海に面した土地なのに市民が海に親しむような場所が少ない。特に釣りに関しては殆ど禁止か時間制限、投釣り禁止等の釣りが好きな人ほどつまらない場所ばかり。海や山の環境破壊も進んで魅力がない場所になった。
- 漠然とこの地に特に思いいれがなく、家を買ったり長い目で見て畑をしたりするなら地元に戻りたい。

40 代の転居意向

- 仕事の都合
- 結婚して、パートナーの職場が都内のため。
- 街がつまらない。飲食店の質が良くない。電車の移動が長時間（都内まで）。
- 現在の職業の定年を迎えた後、再就職時の職場近郊を考えている。
- 周辺は高齢者ばかりで衰退しているイメージ。そのうち外国の人ばかりになるのでは？と危惧している。仕事帰りにやっている店が近くにない。

Ⅱ．近所の方々や地域とのつき合いについて

問5 あなたは、近所の方々と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

- 「道で会えば挨拶ぐらいする」(47.9%)、「たまに立ち話をする」(29.4%)といった『緩やかな関係¹⁰』(77.3%)が、約8割。
- 「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(6.1%)、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(6.1%)といった『親しい関係¹¹』(12.2%)は、約1割。
- 「顔もよく知らない」(10.5%)も、約1割。
- 回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

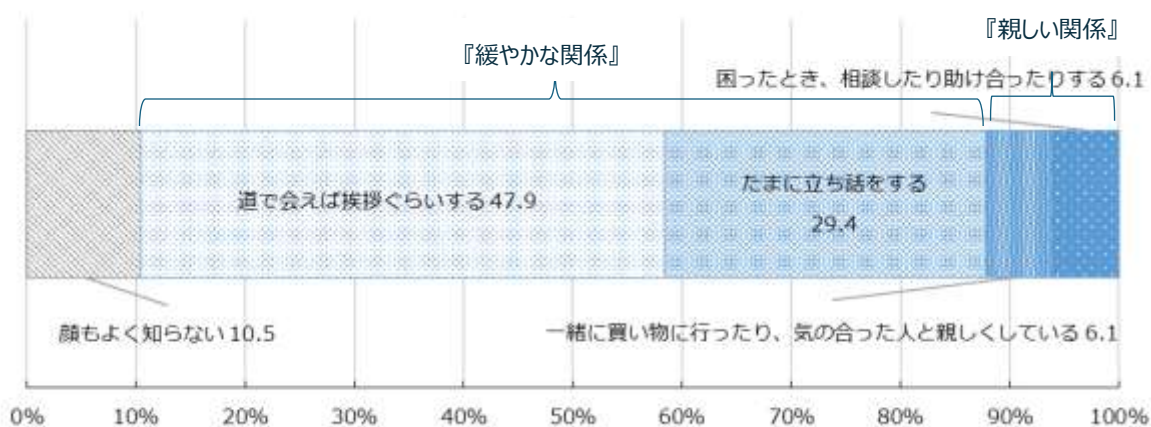
【今回調査】

顔もよく知らない 10.5%、『顔見知りの関係』 77.3%、『親しい関係』 12.2%

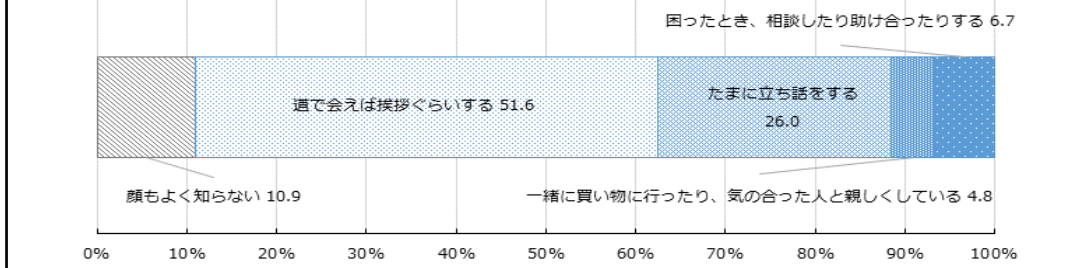
【前回調査(令和2年度実施)】

顔もよく知らない 10.9%、『顔見知りの関係』 77.6%、『親しい関係』 11.5%

問5. 近所とのつき合い方 (N=1,415人)



前回調査(令和4年度実施) 近隣所との付き合い方 (N=1,387人)

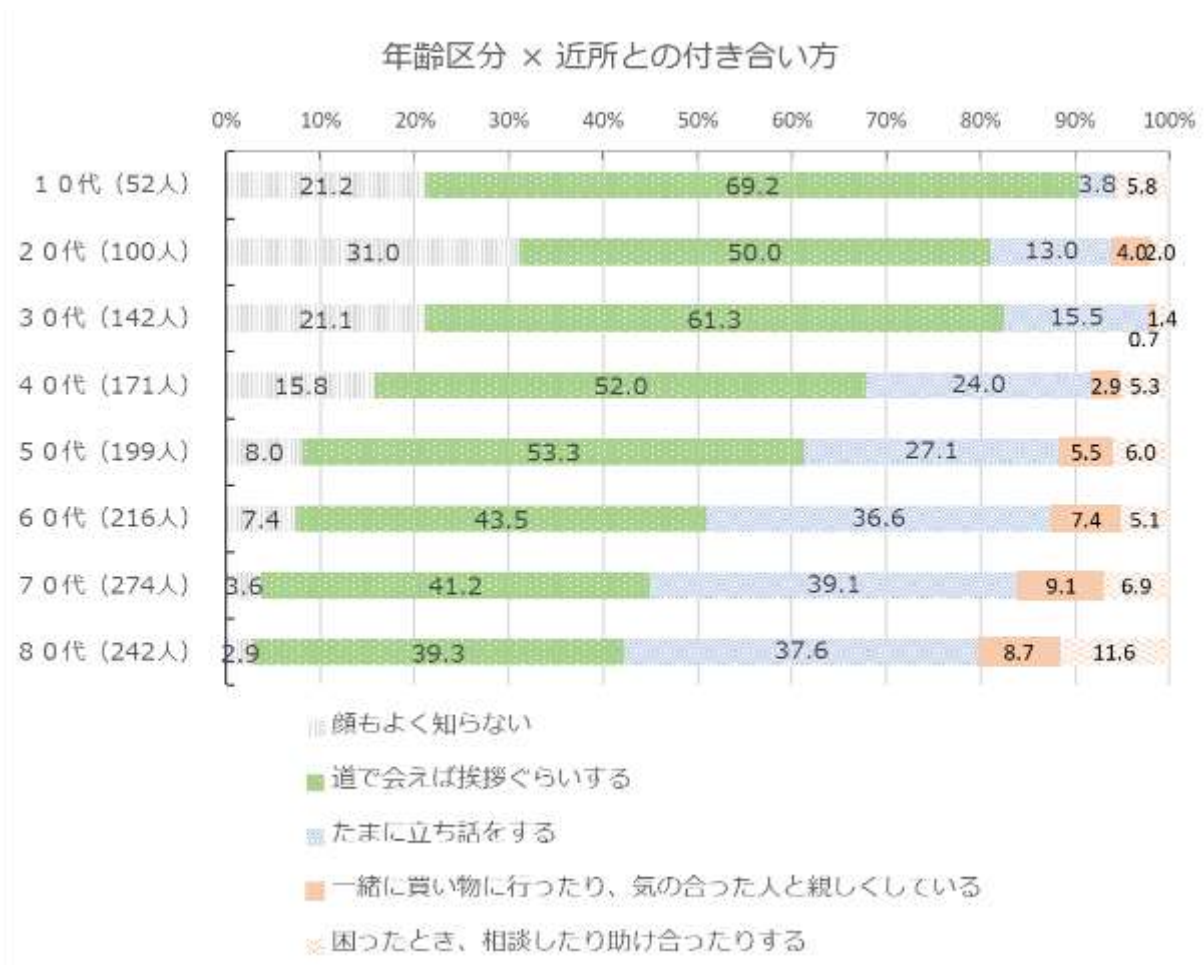


¹⁰ 「道で会えば挨拶ぐらいする」「たまに立ち話をする」の計

¹¹ 「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の計

【年齢区分×近所との付き合い方】

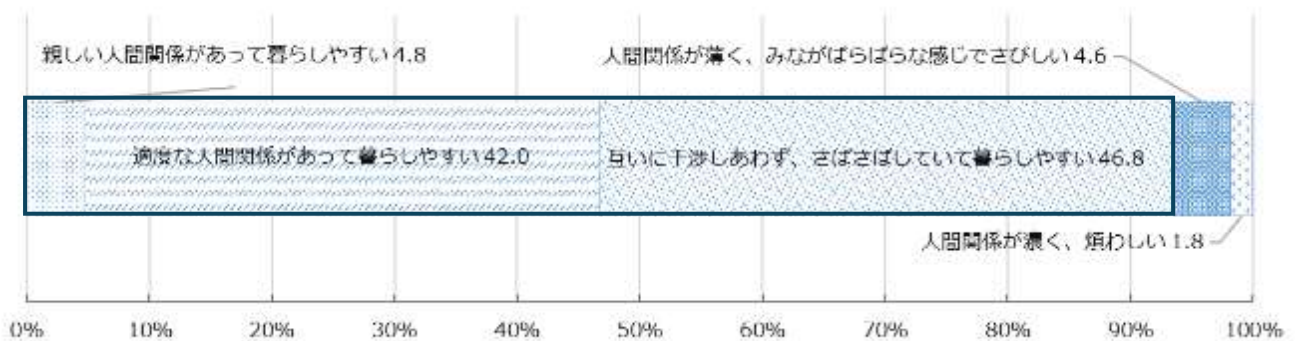
- 年代別に見ても、「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が最も大きい。
- 10代～30代は、「顔もよく知らない」の割合が大きく、40代～80代は、「たまに立ち話をする」の割合が大きい。
- 70代～80代では、『親しい関係』を築いている割合が2割前後で、他の年代より高く、日ごろから近所の人たちと互いに助け合う関係性を築いていることがうかがえる。



問6 あなたは、近所の方々とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

- ・ 近所とのつき合い方に濃淡はあるものの、ほとんどが、今の近所づきあいの仕方に暮らしやすさを感じている。
- ・ 回答傾向は、前回調査（令和4年度実施）とほぼ変わらない。

問6. 近所とのつき合いの感じ (N=1,426 人)

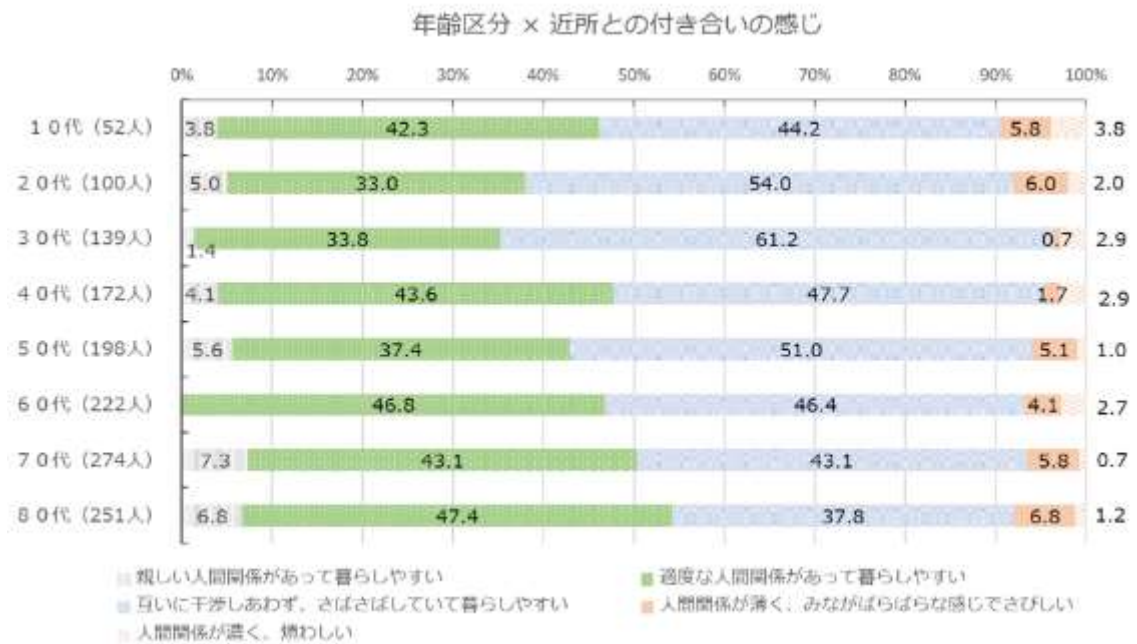


前回調査（令和4年度実施） 近隣所との付き合い方 (N=1,397 人)



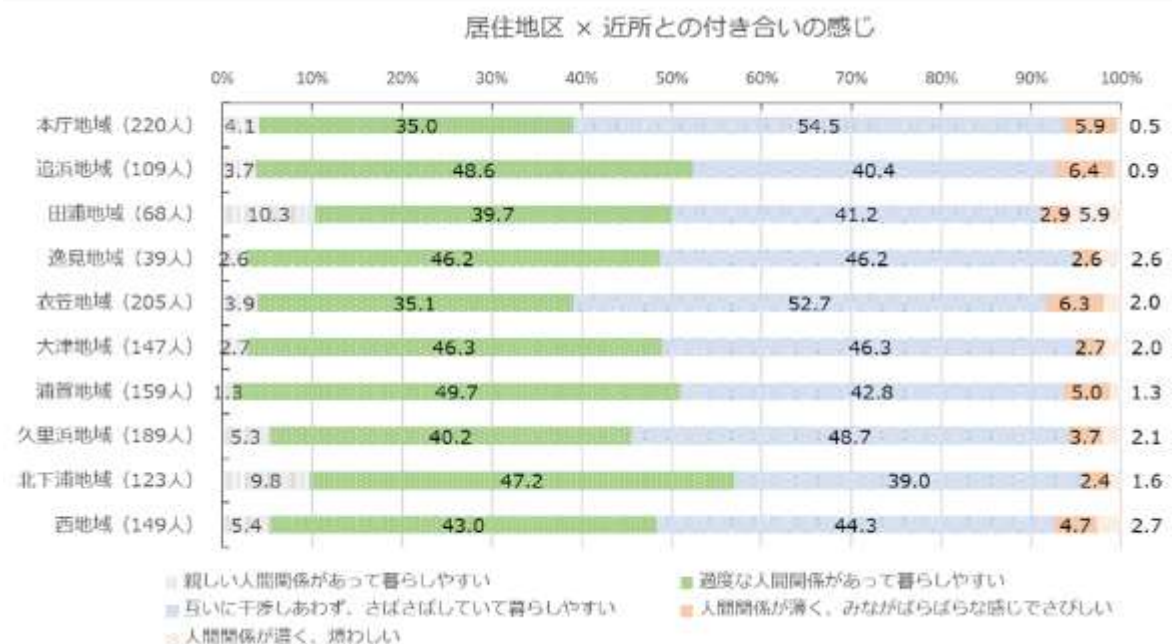
【年齢区分×近所との付き合いの感じ】

- 年代別に見ても、回答傾向に大きな違いはないが、選択項目の傾向を見ると、特に、30代では、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が6割を超えており、その年代の考え方が表れていると推察される。



【居住地域×近所との付き合いの感じ】

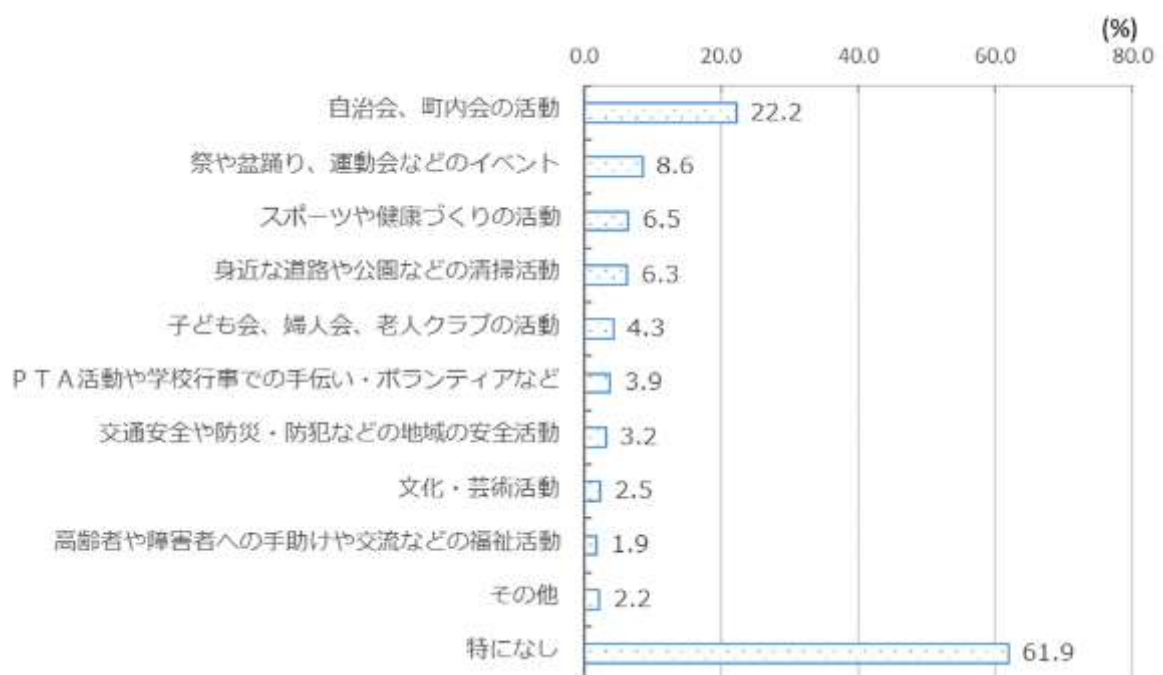
- 地域別では、回答傾向に大きな違いはない。
- 本庁や衣笠については、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」の割合が高い。



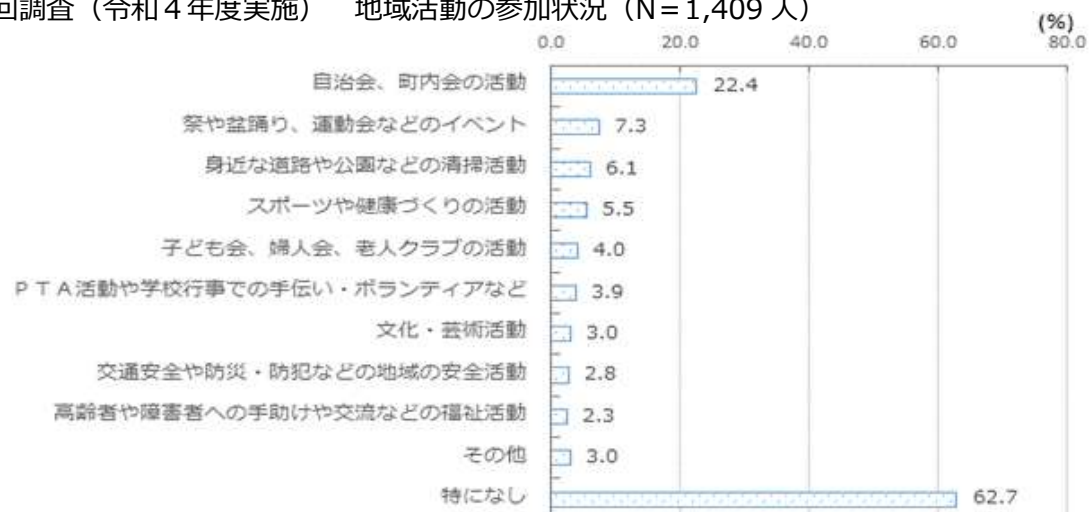
問7 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- 参加している活動の上位は、「自治会、町内会の活動」(22.2%)で約2割。それ以外の地域活動への参加は、1割に満たない。
- 一方で、「特になし」は、前回調査同様に6割を超えており、地域の担い手不足という状況がうかがえる。
- 回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

問7. 地域での参加活動(複数回答)(N=1,426人)



前回調査(令和4年度実施) 地域活動の参加状況(N=1,409人)



【年齢区分×地域活動の参加状況】

- 年代別でも、「特になし」が最も多く、特に20代は8割を超える。一方、40代は6割弱で参加率が高い。これは、子育て期によって、地域への関係性が高まることによると考えられる。以後、50代、60代になると、地域への関わりが薄くなる様子が見えてくる。
- 参加率の高い地域活動は、「自治会、町内会の活動」が多く、全体では約2割。40代と70代では約3割と比較的高い状況にある。この傾向は、前回調査と同様。地域活動全般でいうと、70代以降の高齢者の参加率が高く、この年代に支えられている様子が見えてくる。

	自治会、町内会の活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術活動	スポーツや健康づくりの活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	その他	特になし
全体(1426人)	22.2	4.3	1.9	6.3	2.5	6.5	8.6	3.9	3.2	2.2	61.9
10代(52人)	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	21.2	11.5	1.9	1.9	65.4
20代(100人)	12.0	0.0	0.0	2.0	0.0	4.0	5.0	2.0	2.0	0.0	82.0
30代(141人)	11.3	2.8	0.0	2.1	2.1	2.1	10.6	5.0	3.5	0.0	75.2
40代(172人)	29.1	3.5	0.0	4.1	0.6	3.5	12.2	9.3	2.3	1.2	56.4
50代(200人)	20.0	2.0	1.0	4.5	0.5	3.0	6.5	4.0	2.5	3.5	67.0
60代(221人)	24.9	1.4	2.3	5.0	2.7	5.4	5.0	2.7	1.8	2.3	63.8
70代(274人)	27.0	7.3	3.3	8.0	4.0	12.8	4.7	1.8	3.6	3.3	52.9
80代(247人)	25.5	8.1	4.0	10.9	4.5	8.9	11.7	2.0	5.7	2.8	55.5

前回調査（令和4年度実施） 年齢区分×地域活動の参加状況

	自治会、町内会の活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術活動	スポーツや健康づくりの活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	その他	特になし
全体(1409人)	22.4	4.0	2.3	6.1	3.0	5.5	7.3	3.9	2.8	3.0	62.7
10代(63人)	9.5	0.0	3.2	3.2	3.2	3.2	15.9	6.3	3.2	3.2	66.7
20代(84人)	3.6	1.2	0.0	3.6	0.0	2.4	4.8	1.2	0.0	0.0	86.9
30代(151人)	17.2	6.0	2.0	4.6	0.7	3.3	7.9	4.6	1.3	3.3	67.5
40代(176人)	23.3	4.0	0.6	3.4	0.6	4.5	6.8	10.8	1.1	2.3	63.6
50代(214人)	25.2	2.3	1.4	2.8	2.3	3.7	7.9	3.3	1.9	1.4	66.4
60代(245人)	24.1	0.4	4.1	6.5	4.1	4.9	3.3	2.0	2.4	4.5	63.3
70代(253人)	30.8	5.9	3.6	9.9	4.0	9.9	8.7	3.2	4.0	3.6	51.8
80代(214人)	22.4	8.9	2.3	9.8	5.6	6.5	7.9	1.9	6.1	3.7	56.5

【地域区分×地域活動の参加状況】

- 地域別に見ても「特になし」が最も多いが、その回答割合にはばらつきが見られ、田浦地域の5割が最も低い。一方で、本庁地域は、7割弱となっている。

	自治会、町内会の活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術活動	スポーツや健康づくりの活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	P T A活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	その他	特になし
全体（1426人）	22.2	4.3	1.9	6.3	2.5	6.5	8.6	3.9	3.2	2.2	61.9
本庁地域（220人）	18.2	4.1	1.4	5.9	0.9	6.8	6.4	3.6	1.8	4.1	67.3
追浜地域（110人）	21.8	5.5	0.9	5.5	0.9	12.7	9.1	5.5	3.6	0.9	58.2
田浦地域（68人）	32.4	7.4	2.9	4.4	2.9	2.9	13.2	5.9	2.9	5.9	50.0
逸見地域（39人）	25.6	12.8	2.6	7.7	2.6	2.6	10.3	7.7	0.0	2.6	51.3
衣笠地域（205人）	23.4	2.4	2.9	5.9	3.4	4.4	5.4	2.9	4.9	1.0	66.8
大津地域（147人）	28.6	2.7	2.0	6.8	4.1	6.1	7.5	4.8	2.0	0.7	57.8
浦賀地域（159人）	22.6	5.0	2.5	6.3	3.1	4.4	9.4	3.8	3.8	1.9	62.3
久里浜地域（188人）	21.8	1.1	1.1	5.3	2.1	9.6	6.9	3.7	3.7	0.5	62.2
北下浦地域（124人）	18.5	8.1	2.4	5.6	2.4	4.8	11.3	2.4	4.0	3.2	62.9
西地域（147人）	17.7	2.0	0.7	6.8	1.4	6.1	10.9	3.4	2.7	3.4	63.9

前回調査（令和4年度実施） 地域区分×地域での参加活動

	自治会、町内会の活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術活動	スポーツや健康づくりの活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	P T A活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	その他	特になし
全体（1409人）	22.4	4.0	2.3	6.1	3.0	5.5	7.3	3.9	2.8	3.0	62.7
本庁地域（209人）	15.8	4.8	1.9	5.3	2.9	2.9	5.7	3.3	2.4	1.9	69.9
追浜地域（111人）	18.9	3.6	1.8	8.1	3.6	7.2	9.9	4.5	5.4	4.5	63.1
田浦地域（77人）	37.7	9.1	3.9	10.4	2.6	10.4	10.4	5.2	2.6	3.9	44.2
逸見地域（36人）	27.8	0.0	0.0	2.8	5.6	8.3	11.1	13.9	0.0	2.8	55.6
衣笠地域（208人）	18.3	1.4	1.0	2.4	1.9	3.8	3.8	2.9	1.4	1.9	70.7
大津地域（170人）	28.8	6.5	4.1	11.2	2.9	7.1	6.5	3.5	4.1	2.9	59.4
浦賀地域（178人）	27.5	4.5	3.4	6.2	4.5	6.7	9.6	3.4	1.7	1.7	53.9
久里浜地域（176人）	20.5	3.4	2.8	6.3	4.5	5.1	9.7	2.8	4.0	2.8	65.9
北下浦地域（113人）	15.9	1.8	2.7	5.3	0.0	3.5	4.4	4.4	2.7	3.5	68.1
西地域（122人）	26.2	4.1	0.8	4.1	1.6	4.9	7.4	4.9	2.5	6.6	59.0

問8 あなたは、今後、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

- 「このままでよい」が、約7割で、最も多い。
 - 『関係性を深めたい(計)¹²』は、約2割。
- 一方、『関係性を深めたくない(計)¹³』(12.6%)は、約1割。

問8. 今後の地域との関わり (N=1,436人)



【年齢区分×今後の地域との関わり】

- 年代別に見ても、「このままでよい」が最も多い。
- ほとんどの年代で、『関係性を深めたい(計)』は、2割前後だが、80代では、1割強(11.5%)と、やや低い。
- 『関係性を深めたくない(計)』は、年代でばらつきが見られ、特に20代～30代は、2割前後で、他の年代と比べて1.5～2倍近い値となっており、地域との関わりを求めている様子が見える。



¹² 「深めたい」「まあ深めたい」の計

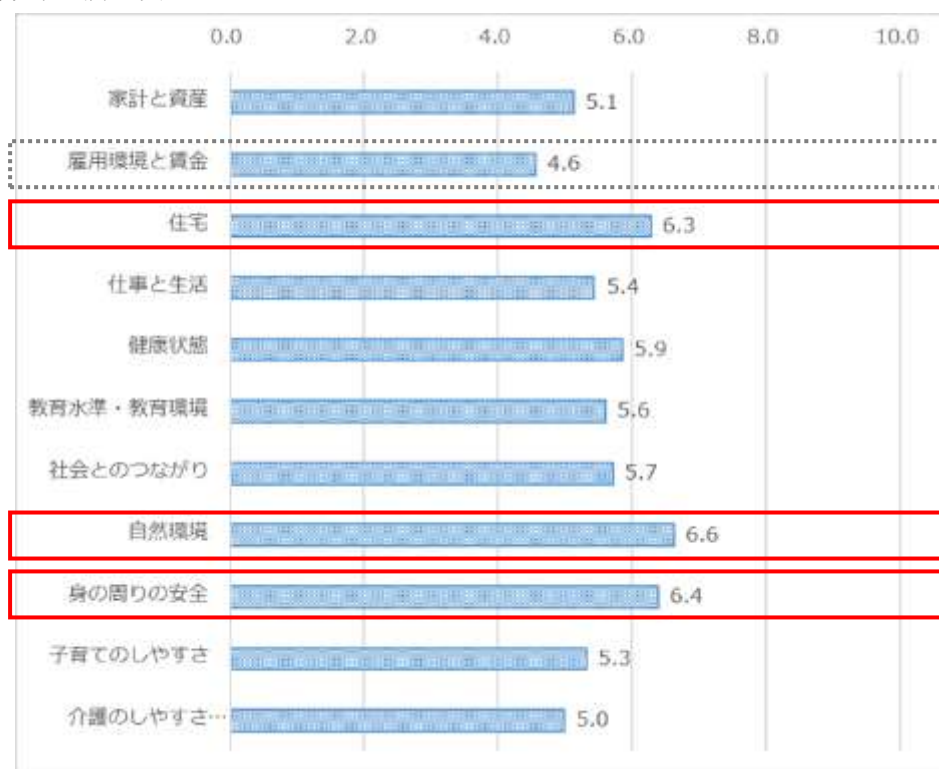
¹³ 「あまり深めたくない」「深めたくない」の計

Ⅲ. 生活意識について

問9 あなたは、以下の、生活に関するさまざまな分野における満足の度合いについて、「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

- 各項目の満足度を合算したものの平均値は 5.6 で、満足している割合の方がやや高い。前回調査の平均値は 5.5 で、ほぼ変わらない。
- 満足度が高い分野は、「自然環境」(6.6)、「身の周りの安全」(6.4)、「住居」(6.3) 一方、「雇用環境と賃金」は、4.6 でやや低い。この傾向は、前回調査と大きな変化は見られない。

問9. 分野別満足度

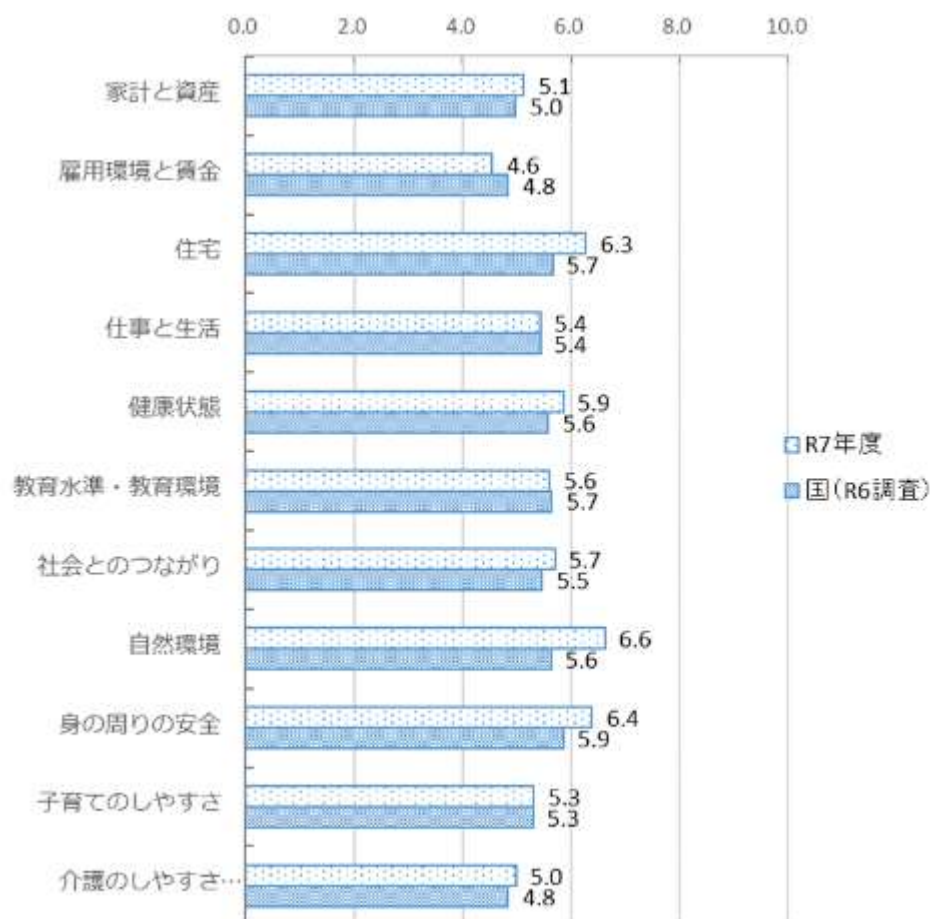


【分野別満足度 (R7 年度と R4 年度のポイント差)】

	家計と資産	雇用環境と賃金	住居	仕事と生活	健康状態	教育水準・教育環境	社会とのつながり	自然環境	身の周りの安全	子育てのしやすさ	介護のしやすさ・されやすさ	平均
R7年度	5.1	4.6	6.3	5.4	5.9	5.6	5.7	6.6	6.4	5.3	5.0	5.6
R4年度	4.8	4.4	6.0	5.3	5.9	5.5	5.5	6.5	6.2	5.3	4.9	5.5
ポイント差	0.3	0.2	0.3	0.1	▲ 0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1

【参考】分野別満足度（R7 年度と国調査(R6)¹⁴の比較）

- 調査方法やサンプル数などが異なるが、項目が同一の内閣府の調査と比べると、横須賀市では「自然環境」「住宅」「身の周りの安全」などが高く、特に「自然環境」については、1.0 ポイント上回っている。



【R7 年度と国調査(R6)のポイント差】

	家計と資産	雇用環境と賃金	住宅	仕事と生活	健康状態	教育水準・教育環境	社会とのつながり	自然環境	身の周りの安全	子育てのしやすさ	介護のしやすさ・されやすさ	平均
R7年度	5.1	4.6	6.3	5.4	5.9	5.6	5.7	6.6	6.4	5.3	5.0	5.6
国(R6調査)	5.0	4.8	5.7	5.4	5.6	5.7	5.5	5.6	5.9	5.3	4.8	5.4
ポイント差	0.2	▲ 0.3	0.6	0.0	0.3	▲ 0.1	0.2	1.0	0.5	0.0	0.1	0.2

¹⁴ 内閣府「満足度・生活の質に関する調査報告書 2024」参考資料

【年齢区分×分野別満足度】

- 年代別でみると、どの年代でも「住宅」「自然環境」「身の周りの安全」は高く、ほとんどの年代で6.0を超えている。

「自然環境」の満足度の高さについては、横須賀の大きな魅力である海やみどりなどの自然環境の豊かさが影響していると考えられる。

- 一方、「雇用環境と賃金」は、どの年代でも低い。ハローワーク横須賀管内の有効求人倍率は神奈川県全体より低く、市内・周辺地域において希望する職種や条件に合う仕事を見つけにくい状況があると考えられる。また、政府統計によると、横須賀市は自市内就業率が高い。このため、市内の雇用機会や賃金水準への評価が、満足度の低さに影響している可能性がある。

また、「子育てのしやすさ」についてみると、全体の値5.3のなかで、30代、40代は、5.0、5.1で、全体の値よりもやや低い。「教育水準・教育環境」については、全体の値が5.6のなかで、40代は5.2と低い。

	全体	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代
家計と資産	5.1	5.5	4.7	5.0	5.2	5.6	5.7	5.8
雇用環境と賃金	4.6	4.8	4.5	4.7	5.1	5.4	4.9	4.6
住宅	6.3	6.4	6.1	6.1	6.3	6.2	6.4	6.8
仕事と生活	5.4	5.8	5.2	5.2	5.5	5.9	5.3	5.0
健康状態	5.9	6.8	6.3	6.0	5.5	5.9	5.7	5.6
教育水準・教育環境	5.6	6.4	5.6	5.2	5.6	5.8	5.6	5.7
社会とのつながり	5.7	6.2	5.7	5.7	5.8	5.7	5.7	5.9
自然環境	6.6	6.7	6.2	6.5	6.4	6.5	6.3	6.3
身の周りの安全	6.4	6.5	5.8	6.3	6.3	6.5	6.5	6.6
子育てのしやすさ	5.3	5.1	5.0	5.1	5.4	5.5	5.6	5.7
のしやすさ・されやすさ	5.0	4.9	4.9	4.6	5.1	5.6	5.3	5.6

※10点満点中、平均6.0以上を黄色に着色

問10 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(〇は1つ)

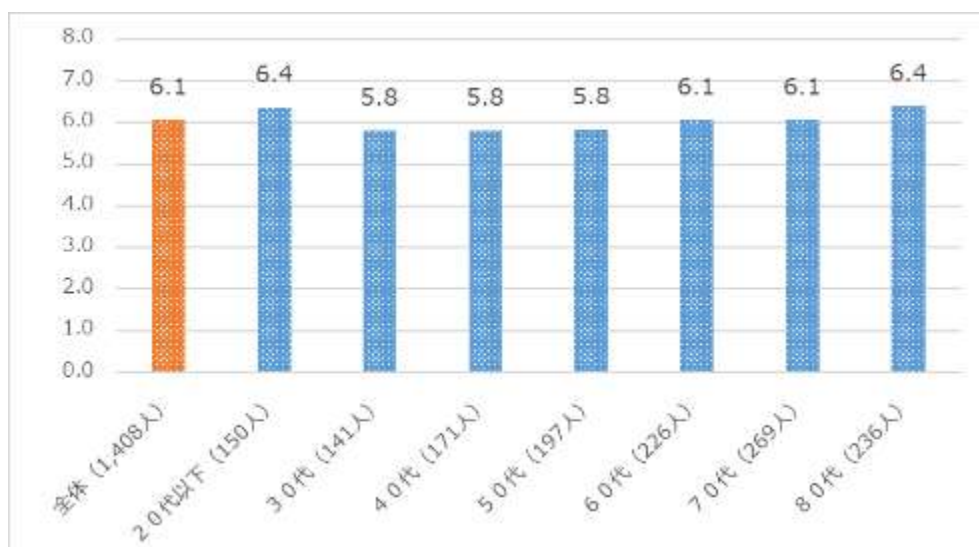
- 「生活全体の満足度」は、6.1。前回調査と大きな変化はない。
- 類似の内閣府の調査と比べても、生活の満足度に大きな差は見られない。

問10. 生活全体の満足度

R4年度との比較		R7国調査との比較	
R6年度 (1,408人)	6.1	R6年度	6.1
R4年度 (1,422人)	5.9	国(R7調査)	5.8
ポイント差	0.2	ポイント差	0.3

【年齢区分×生活全体の満足度】

- 年代別でみると、20代から30代にかけて低下し、30代～50代で最も低い水準、60代以降で上昇している。これは、一般に、高齢期になると仕事や子育てなどの負担が軽減され、現在の生活を肯定的に受け止めやすくなることから幸福感が向上するとされており、その傾向の表れとも考えられる。



問 1 1 問 1 0 でお伺いした「現在の生活全体の満足度」を判断する際に、重視した事項は何ですか。第 1 位から第 3 位の順に、それぞれ 1 つずつ選んで、番号をお書きください。

- ・ 「生活全体の満足度」を判断する要因として「家計と資産」「健康状態」「住宅」の満足度が大きく影響していることが見て取れる。
- ・ 前回調査とも同様の傾向で、経済的な側面、健康などの安定が、生活全体の満足度につながっていると考えられる。

問 11. 生活全体の満足度を判断する際の重視事項

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
家計と資産	25.8	12.4	10.3
健康状態	20.1	17.8	15.9
住宅	14.0	16.0	12.4
仕事と生活	10.0	10.1	9.8
自然環境	8.9	8.9	11.5
雇用環境と賃金	7.3	9.2	6.2
身の周りの安全	5.7	10.8	13.9
社会とのつながり	3.7	7.5	8.5
子育てのしやすさ	1.9	2.7	2.2
介護のしやすさ・されやすさ	1.6	3.2	7.3
教育水準・教育環境	0.9	1.4	2.1

前回調査（令和 4 年度実施）

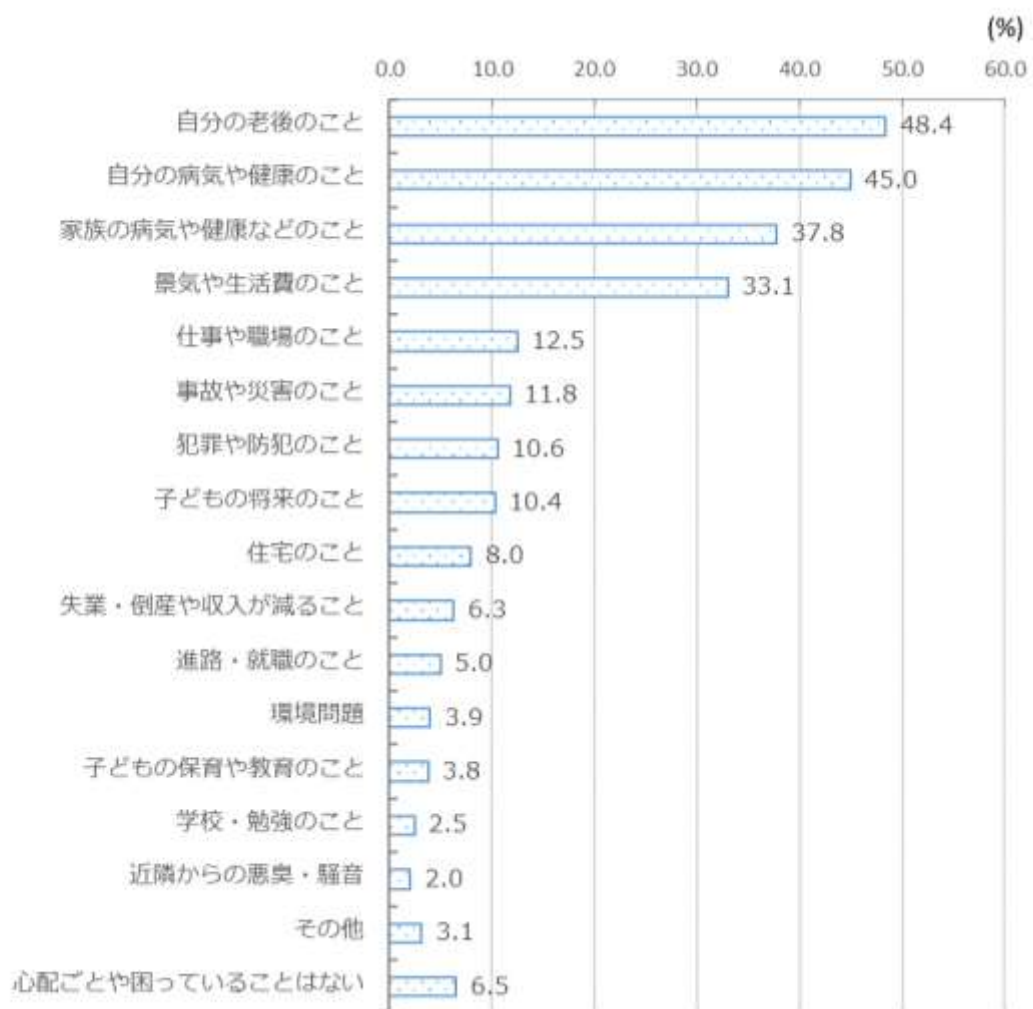
(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
家計と資産	23.2	12.5	9.9
健康状態	19.9	18.5	15.8
住宅	13.6	14.9	14.0
仕事と生活	10.6	10.8	9.5
自然環境	10.1	10.3	10.3
雇用環境と賃金	7.4	10.3	6.3
身の周りの安全	5.8	10.3	15.6
社会とのつながり	3.5	5.4	7.8
介護のしやすさ・されやすさ	2.5	2.9	6.3
子育てのしやすさ	2.2	2.5	2.5
教育水準・教育環境	1.3	1.6	2.1

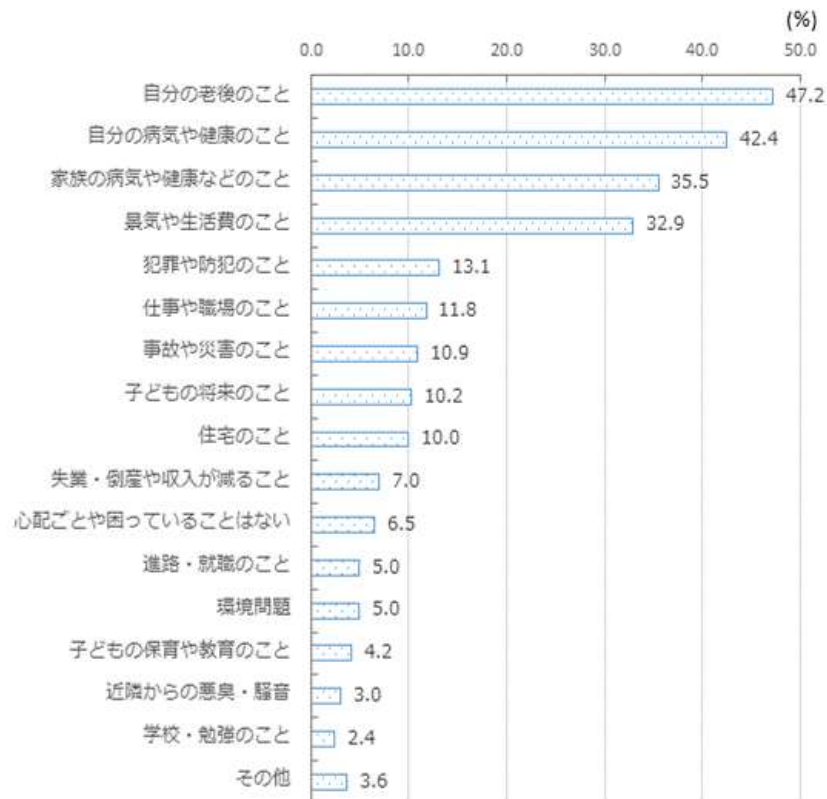
問 1 2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

- 「自分の老後のこと」(48.4%) が最も多く、5割近くに上る。これについては、急速に変化する社会状況など、先行きの不透明感が影響していると考えられる。
- 次いで、「自分の病気や健康のこと」(45.0%)、「家族の病気や健康などのこと」(37.8%)が続く。このことについては、当人だけでなく家族も含め、仕事や経済的な影響など、現在や将来の生活に大きな負担が生じることを強く懸念している表れではないかと思われる。
- これらの回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)と大きな変化はない。

問 12. 心配ごとや困っていること (N=1,419 人)



前回調査（令和4年度実施） 心配ごとや困っていること（N=1,409人）



【年齢区分×心配ごとや困っていること】

- 全ての年代で、「景気や生活費」「家族の病気と健康などのこと」が上位に選択されている。
- 40代から「自分の老後のこと」は、心配事として挙げられている。50代以上から、「自分の病気や健康のこと」や「家族の病気と健康などのこと」が意識され始めている様子がうかがえる。

	20代以下 (150人)	%	30代 (135人)	%	40代 (168人)	%	50代 (186人)	%	60代 (217人)	%	70代 (259人)	%	80代 (210人)	%
1位	進路・就職のこと	33.6	景気や生活費のこと	43.1	自分の老後のこと	40.6	自分の老後のこと	58.6	自分の老後のこと	60.4	自分の病気や健康のこと	60.5	自分の病気や健康のこと	69.4
2位	景気や生活費のこと	29.6	家族の病気や健康などのこと	32.1	家族の病気や健康などのこと	39.4	自分の病気や健康のこと	39.4	自分の病気や健康のこと	44.9	自分の老後のこと	60.5	自分の老後のこと	52.4
3位	家族の病気や健康などのこと	25.7	自分の老後のこと	30.7	景気や生活費のこと	37.6	家族の病気や健康などのこと	37.9	家族の病気や健康などのこと	40.4	家族の病気や健康などのこと	36.9	家族の病気や健康などのこと	46.0
4位	仕事や職場のこと	20.4	仕事や職場のこと	27.7	自分の病気や健康のこと	31.2	景気や生活費のこと	33.8	景気や生活費のこと	39.1	景気や生活費のこと	31.7	景気や生活費のこと	21.0
5位	学校・勉強のこと	17.8	自分の病気や健康のこと	27.0	子どもの将来のこと	23.5	仕事や職場のこと	21.7	犯罪や防犯のこと	11.6	事故や災害のこと	12.9	犯罪や防犯のこと	12.5
	—		—		—		—		—		犯罪や防犯のこと	12.9	—	

IV. 幸福度（幸せの実感）について

問 13 現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（〇は1つ）

- 「幸せの程度」は、6.6。類似の内閣府の調査結果とほぼ同様。

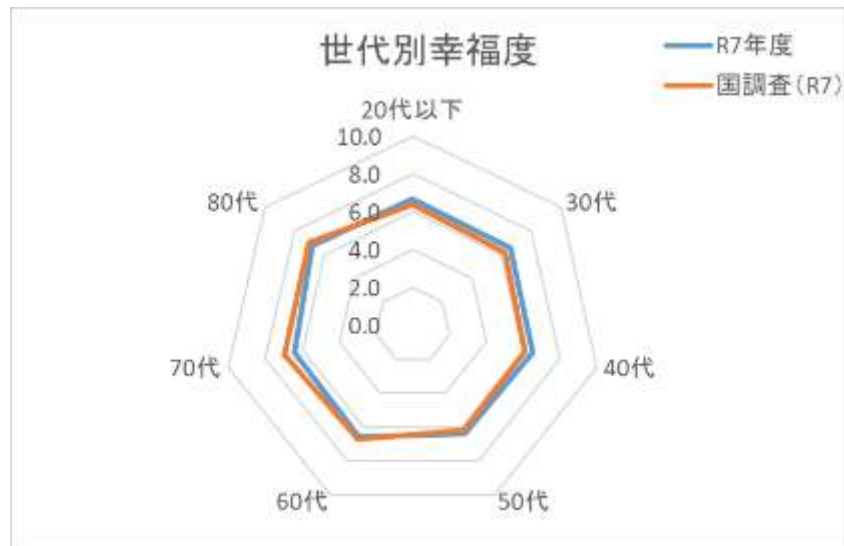
問 13. 幸せの程度

R4年度との比較※		R7国調査との比較	
R7年度（1,408人）	6.6	R7年度（1,408人）	6.6
R4年度		国(R7調査)	6.4
ポイント差	—	ポイント差	0.2

※R 4には、調査未実施

【年齢区分×幸せの程度】

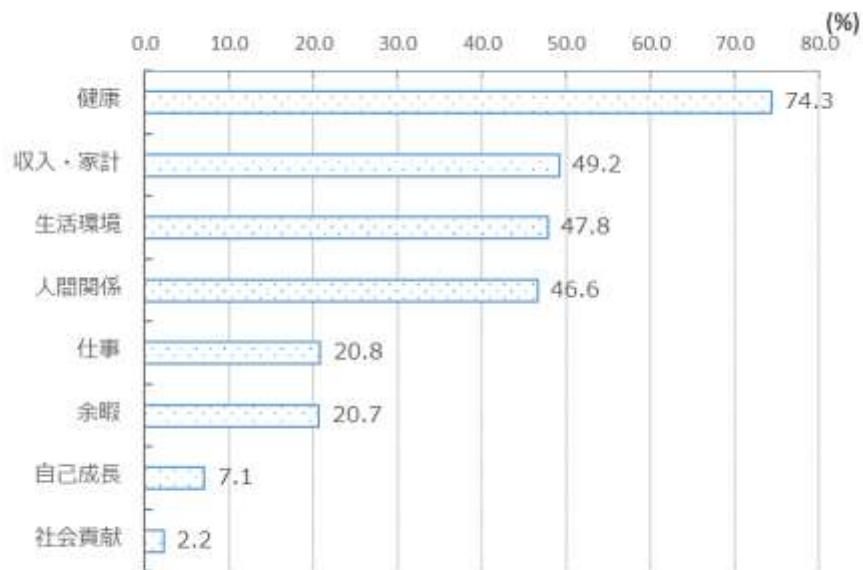
- 年代別でみると、40代以下の比較的若い世代では、国の結果よりも高く、60代以降の世代では低い傾向が見られる。



問 1 4 幸福感を判断する上で、あなたが重視したのはどんなことですか。次の中から重要だと思うものを選んでください。(〇は3つ)

- 「健康」が7割を超え、最も多く、次いで「収入・家計」「生活環境」「人間関係」が同程度で約5割。
- この結果から、幸福と健康は、密接に関連しているといえる。

問 14. 幸福感を判断する上で重視したこと (N=1,426 人)



【年齢区分×幸福感を判断する上で重視したこと】

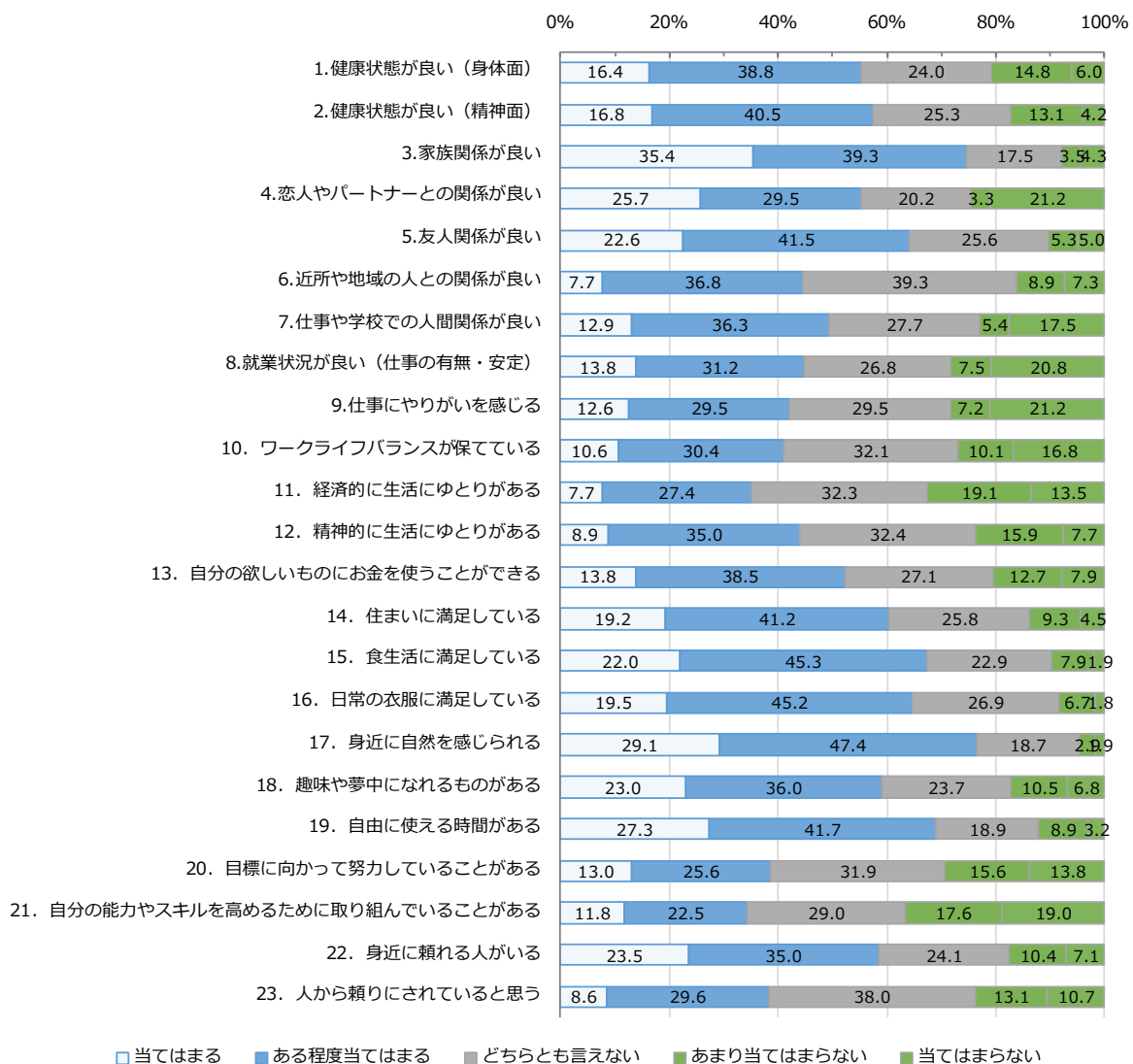
- 年代別でも、全世代を通じて「健康」が上位に選ばれており、特に、70代、80代では、9割近くに上る。
- 一方、20代以下では、「健康」よりも「人間関係」が上位に選ばれている。若い世代では、他の世代よりも、友人・家族・職場・地域など、社会とのつながりが幸福感につながっている様子がうかがえる。

	20代以下 (153人)	%	30代 (141人)	%	40代 (171人)	%	50代 (197人)	%	60代 (223人)	%	70代 (278人)	%	80代 (244人)	%
1位	人間関係	62.1	健康	64.5	健康	66.1	健康	71.1	健康	74.4	健康	87.4	健康	88.1
2位	健康	50.3	収入・家計	53.2	収入・家計	52.6	収入・家計	55.3	収入・家計	52.9	生活環境	57.6	生活環境	50.8
3位	生活環境	41.2	生活環境	48.2	人間関係	46.8	人間関係	42.1	生活環境	44.8	収入・家計	48.6	人間関係	50.4
4位	収入・家計	39.2	人間関係	45.4	生活環境	45.0	生活環境	40.6	人間関係	38.1	人間関係	45.7	収入・家計	42.6
5位	余暇	30.1	仕事	33.3	仕事	33.9	仕事	31.5	仕事	24.7	余暇	17.3	余暇	15.6
6位	仕事	23.5	余暇	22.0	余暇	19.9	余暇	25.4	余暇	20.2	仕事	9.4	自己成長	5.7
7位	自己成長	15.0	自己成長	5.7	自己成長	7.0	自己成長	7.1	自己成長	6.7	自己成長	4.3	仕事	4.5
8位	社会貢献	1.3	社会貢献	0.7	社会貢献	0.6	社会貢献	0.5	社会貢献	3.1	社会貢献	4.0	社会貢献	3.3

問 15 以下の各項目について、あなたの実感に一番近いものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

- 「身近に自然を感じられる」(76.5%)が最も高く、次いで「家族関係が良い」(74.7%)、「友人関係が良い」など、人とのつながりに関する項目が多く選ばれている。
- 今回の調査では、横須賀市の持つ豊かな自然環境が市民の幸福感に強い影響を与えていることが特徴的な結果と言える。
- 一方で、「経済的に生活にゆとりがある」「就業状況が良い(仕事の有無・安定)」など、経済的な側面は、幸福感を判断するうえで強い影響ではない様子がみてとれる。

問 15. 幸福感を判断する際の実感

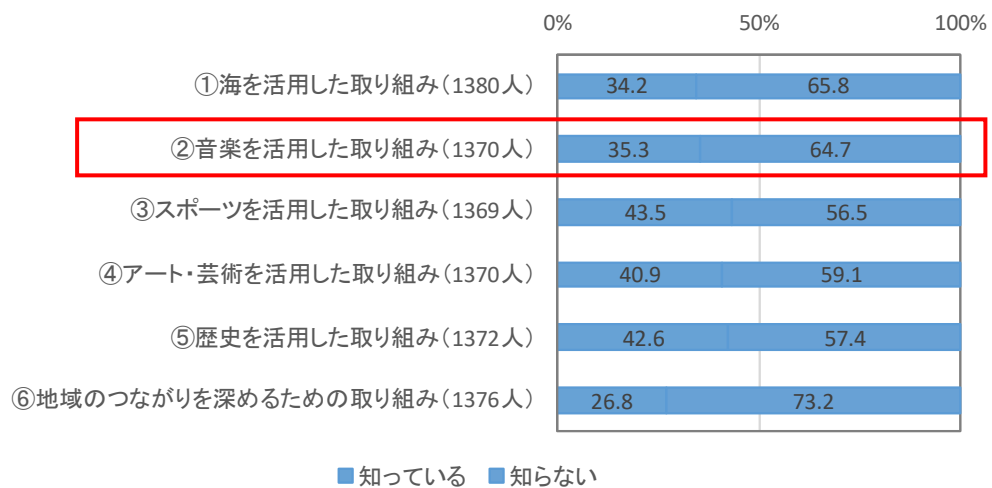


V. 横須賀の主な取り組みについて

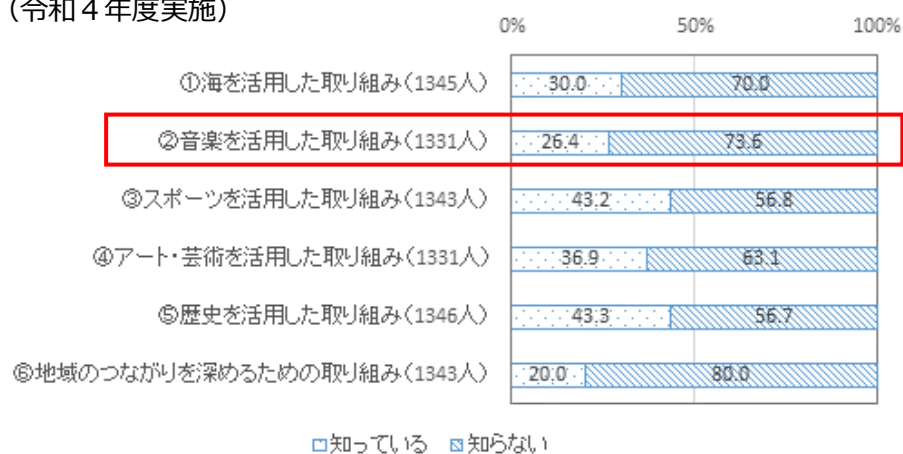
問16 あなたは、横須賀市の次のような取り組みについて知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

- 6つの項目のなかでは、「スポーツを活用した取り組み」「歴史を活用した取り組み」「アート・芸術を活用した取り組み」の認知度が高く、4割を超える。
- 前回調査と比較すると「音楽を活用した取り組み」の認知度が8.9ポイント上昇。街中でのライブや様々な音楽イベントの開催が認知度向上に影響したと考えられる。

問16. 取り組みの認知度



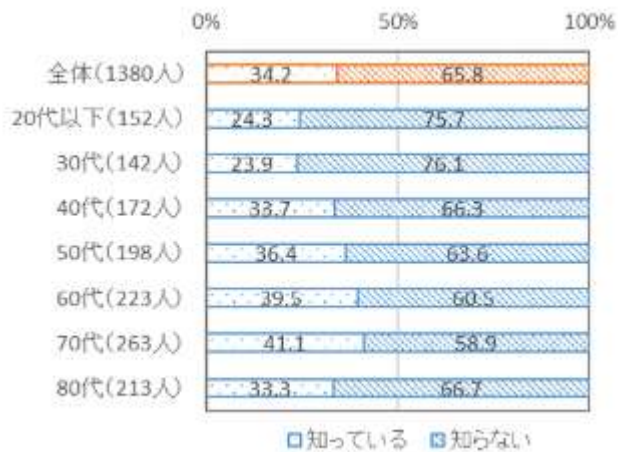
前回調査（令和4年度実施）



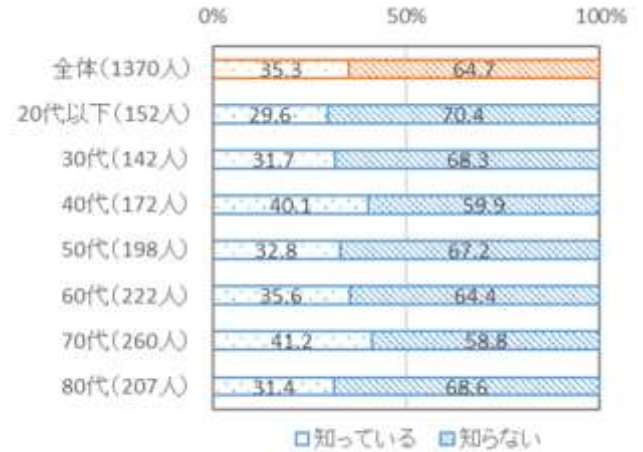
【年齢区分×取り組みの認知度】

- 年代別に見ると、30代以下は、全体的に認知度が低く、40代から70代では比較的認知度が高い傾向にある。今後も SNS など、様々な媒体を通じて、若い世代への周知や発信を強化する必要があると考えられる。なお、分野ごとの認知度には大きな違いは見られない。

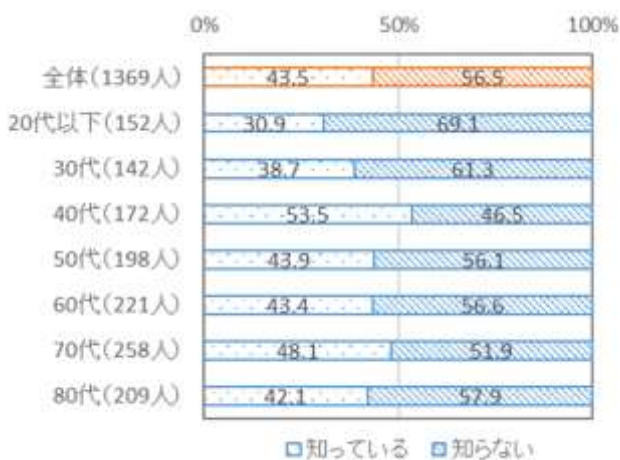
①海を活用した取り組み



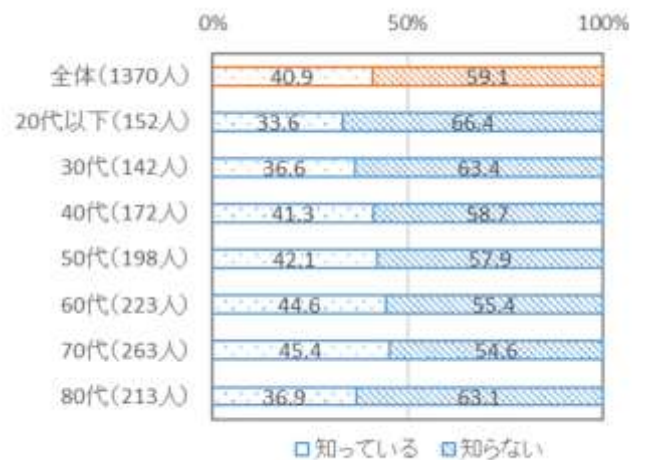
②音楽を活用した取り組み



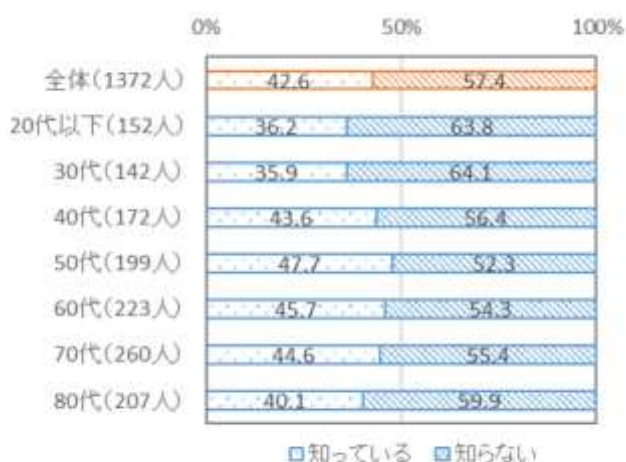
③スポーツを活用した取り組み



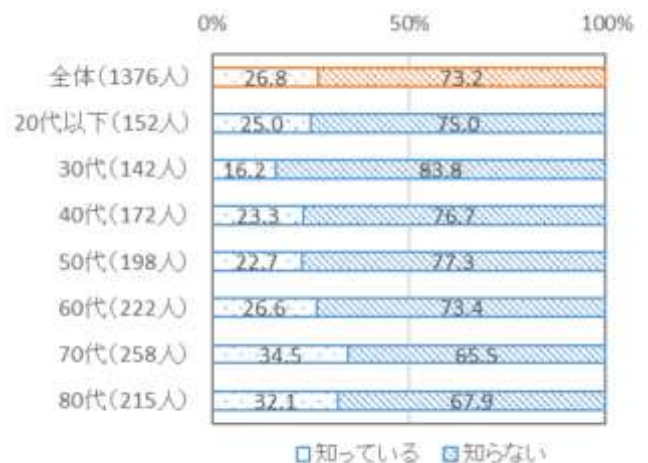
④アート・芸術を活用した取り組み



⑤歴史を活用した取り組み



⑥地域のつながりを深めるための取



問 17 今の横須賀市で、次の取り組みが進んでいる実感はありますか。(〇はそれぞれ1つ)

- 前回（令和4年度）と比較すると、全体的に、市民の実感は向上している。
特に、「音楽を活用した取り組み」は5.5ポイント上昇し、最も大きな伸びとなった。
また、「地域のつながりを深めるための取り組み」も4.0ポイント上昇した。
- 前回同様、全ての取り組みについて「わからない」を回答した割合が3割程度であることから、各取り組みについて、効果的な情報発信を通じて、市民の認知・実感につなげていく必要であるといえる。

問 17 進んでいる実感のある取り組み



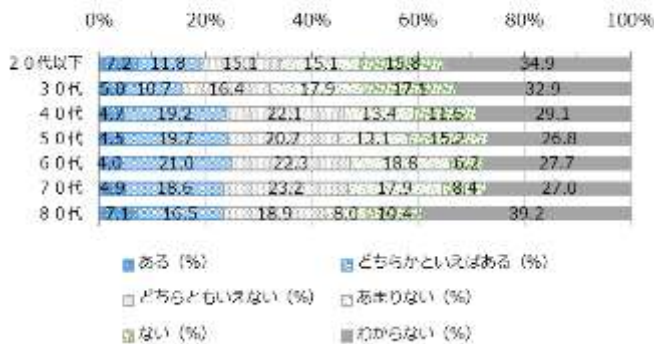
前回調査（令和4年度実施）



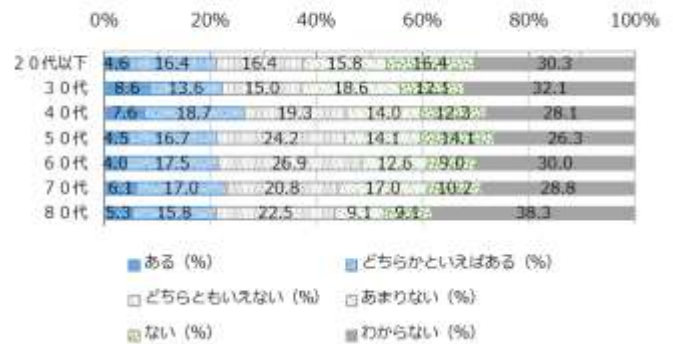
【年齢区分×取り組みが進んでいる実感】

- 年代別に見ると、80代において、全体的に「わからない」の割合は、約3割から4割で高い。
- その他の年代では、特に違いは見られない。

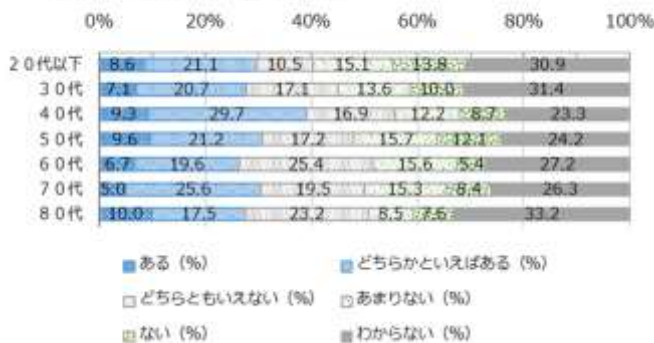
①海を活用した取り組み



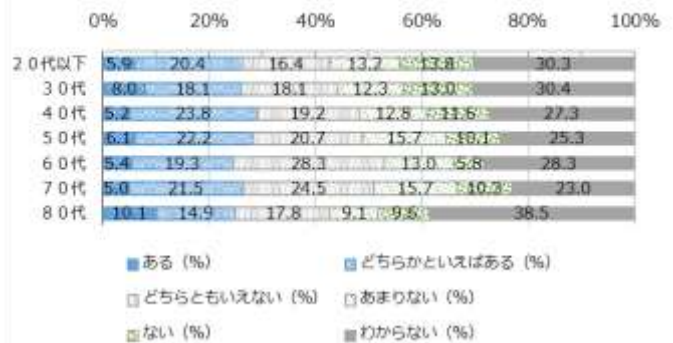
②音楽を活用した取り組み



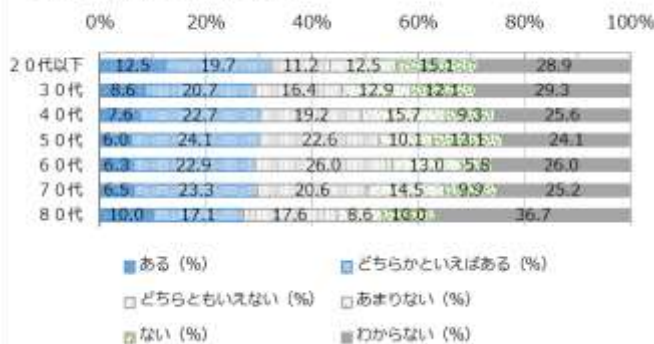
③スポーツを活用した取り組み



④アート・芸術を活用した取り組み



⑤歴史を活用した取り組み



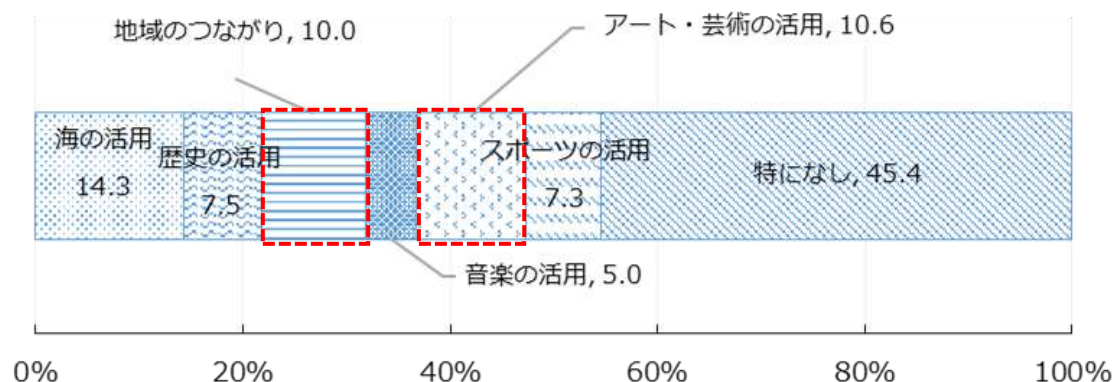
⑥地域のつながりを深めるための取り組み



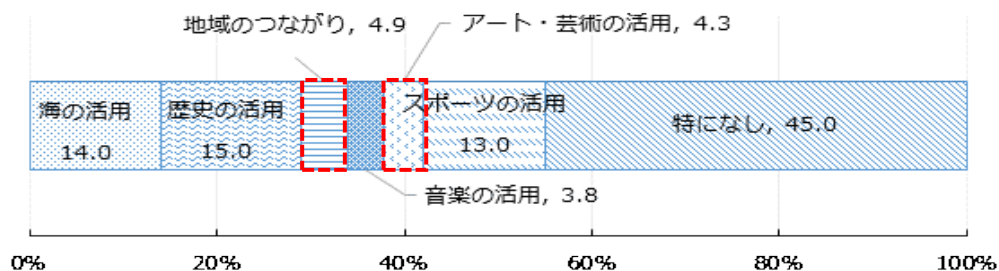
問 1 8 次の取り組みの中で、横須賀全体に、良い影響を与えていると感じるものを選んでください。(〇は1つ) また、その理由もお答えください。

- 6つある取り組みの中で最も回答割合が高いものは、「海を活用した取り組み」14.3%で、次いで「アート・芸術の活用」、「地域のつながり」が続く。
- 前回調査と比較すると、「アート・芸術の活用」は6.3ポイント、「地域のつながり」は5.1ポイント上昇した。
- 良い影響があると感じる理由については、53ページに記載のとおりだが、特に、「海の活用」に関しては、横須賀が海に囲まれたまちであり、海が身近にあることを市の大きな魅力や個性として受け止めている意見が多い。また、「アート・芸術の活用」では、横須賀美術館における企画の良さなど、美術館に関する記載が特に多く、このほか、猿島のアートイベントやよこすか海岸通りのウォールアートに関する記述も見られた。「地域のつながり」では、地域行事や祭り、自治会活動が活発であるという記載が目立ち、コロナ禍後の地域活動や交流機会の再開が実感の向上につながったと考えられる。

問 18. 良い影響を与えていると感じる取り組み (N=1, 324 人)



前回調査 (令和4年度実施) 横須賀全体に、良い影響を与えていると感じる取り組み



【横須賀全体に良い影響を与えていると感じる理由（主な理由）】

①海を活用した取り組み（134件）

- ・ 横須賀には海洋研究開発機構の本部があり、さらに相模湾と東京湾両方に面していることから、海を活用した取り組みは大変重要だと思う。
- ・ 海及び米軍基地、自衛隊の存在は横須賀最大の個性につながっていると感じる。
- ・ 都会には無い海（自然）が子育ての中で重要な記憶となるから。我が家の子供達は東京は住む所では無いと帰省のたびに言います。
- ・ 軍港めぐり、猿島航路、東京九州フェリー等の運行。うみかぜ公園でのイベント・花火
- ・ きれいな海がたくさんある。海にかこまれている。
- ・ ウィンドサーフィンの大会の誘致で地域活性化に繋がっていくと思われる。
- ・ 10000 メートルプロムナードの馬堀海岸から観音崎のところは、ランニングなどで活用していて、とても魅力的に思います。
- ・ 人工的な街より自然豊かでのどかなところが横須賀のいいところだと思います。
- ・ 観音崎周辺の開発、ヴェルニー公園の景観、軍港めぐり等、魅力を感じる。
- ・ 市や地域が、世界に開かれていると実感でき、日本の閉鎖的で内向きな社会傾向に流されずに済んでいるから。
- ・ 海洋プラスチック問題に取り組んでいることはとても良い事だと思います。これは、横須賀だけではなく、日本、世界に関わる大切な問題です。私はたまに、浜辺のゴミ拾いを個人的にしておりますが、それを見た近隣の子供たちが一緒に拾ってくれました。海を愛する横須賀市民が増え、海がきれいになることは、横須賀全体に良い影響があるのではないかと、思います。

②音楽を活用した取り組み（74件）

- ・ 音楽が流れる街が好き！
- ・ 音楽が流れる町って、とても良いと思います。子供が吹奏楽部だった事もあり、クラシックはあまり好きでは無いですが、吹奏楽の音色には特に惹かれます。モアーズのピアノも、中央でたまにやっている音楽も良いと思います。
- ・ 年齢、性別を問わず、楽しめるから。
- ・ 様々な音楽イベントを通して、子どもから大人まで楽しめる場を作っていると感じるから。
- ・ 日本人でなくても音楽なら共感できる。
- ・ 心が豊かになりそう。
- ・ レグィフェスなどで沢山の方々が横須賀に足をはこんでくれていると思う。
- ・ まちなかで演奏しているところをみたりしている。
- ・ 音楽イベントでは地域の人に参加したり、市外の人に来場したり、街に活気が生まれる。
- ・ J A Z Z など街中や公園で無料で身近に聴ける環境

- ・ 日本のジャズ発祥地であり、出来ればずっと横須賀に住んでいたいのだが老後のお金の事を考えるとそうも言ってもらえない。ジャズフェス（友達ジャズ）の時には泊りがけで観光に来るでしょう。
- ・ 戦後の横須賀市は EM クラブを中心としてジャズを楽しむ人々が溢れていたと聞いています。これから年齢を重ねていく際に音楽を聴く事は一生の楽しみになります。質の良い音楽が溢れる街を切に希望します。
- ・ 若松町・大滝町周辺での街中 JAZZ や三笠公園での音楽イベント等、また、夏季の海をアピールしたイベント等、市外からの来客も多数あるようで、”人口減の止まらない街”の悪いイメージを少しでも良く見て貰おうとしている姿勢は、とても大切だと感じる。引き続き、市民も楽しめるイベントを、市政に携わる方々のご苦労は承知の上で、是非企画・実行して頂き、横須賀を盛り上げて頂く思います。

③スポーツを活用した取り組み（99 件）

- ・ ダンスコンテスト等若い年代が楽しくチャレンジできる取り組みは、地域の活力につながると思います。もっと町中のポスターなどPRに力を入れてもいいかも、と思います。
- ・ BMXのイベントやパルクールの大会などでにぎわっている感じがする。
- ・ e スポーツやBMX など他に先駆けていると思う。
- ・ 色々なイベントを開催していて力を入れていることがわかる
- ・ 小さい子から大人までかべを感じにくく会話しやすいスポーツ人口を増やす事で横のつながりがつくりやすいように思う。技術を持った人に対し尊敬やあこがれの気持ちが出て来るので良好な関係をつくれそう。
- ・ スポーツのイベントで市民も他からの人も横須賀に集まって盛り上がる。環境や自然、施設など横須賀の良いイメージを広められる。
- ・ マリノスの練習場が久里浜にできて、活気ある感じになった気がする。
- ・ サッカーのマリノスや野球のベ이스ターズなど、明るい話題がふえていると思うから。
- ・ 自身はスポーツに興味ないが、サポーターやファンが横須賀に来てくれることで金銭的に貢献できていると思う。また新しい綺麗な施設ができることで街の活性化にも繋がると思います。
- ・ すぐに良い影響がでるかは、わからないが運動は健康寿命をのばして良いと思う。
- ・ スポーツは老若男女に関わる事であり、多くの人が携わる機会のあるカルチャーであるため

④アート・芸術を活用した取り組み（53 件）

- ・ すばらしい美術館や音楽コンサートなどの企画の多さ。
- ・ 横須賀美術館いいと思います。走水っていうのもいいです。
- ・ 横須賀美術館の催しが興味深い展示が多い。家族で楽しめる。

- ・ 他の市からの来訪者が増え、横須賀市の経済が回る。またアート・芸術は人々の心を豊かにする。
- ・ 芸術劇場があるため、魅力なものが展示されれば、他の県から観光で来る人達もいるので、活性化につながると思う。
- ・ 平成町のアートの壁画が通る度にステキだなと思う。横須賀美術館の企画展が興味深いものが多く、行ってみたいと思ったことが何回かあった。
- ・ 横須賀美術館は素晴らしい。芸術劇場も。
- ・ 音楽も良いですが、横須賀全体とすると、「千と千尋の神隠し」の美術館の時は子供や家族など幅広い方が来ているようでしたので良いと思いました。BMXなども良いと思います。
- ・ 横須賀美術館でのジブリ展、ダリ展の開催、浦賀ドックでのサーカス、各種イベントの開催により市外からも多くの人々が来訪され活気を感じました。
- ・ 横須賀美術館でジブリ展があった際に、東京の友達も横須賀に来てくれて、横須賀へ人を呼ぶ良いきっかけであったと思ったから。
- ・ 横須賀美術館へは年に何回か行きます。横須賀市でも別空間にいるようで毎回いろいろと楽しんでいます。
- ・ 身近に美術館があるのは、生活を豊かにしてくれていると思います。
- ・ 横須賀美術館が横須賀のシンボルとなっていて、イベントなどもあるため
- ・ 外出中にアート作品をたくさん見る機会があり（馬堀海岸や三春町、平成町あたり）まだ幼い息子とお散歩する際に、一緒に見たり触れたりしながら楽しんでいます。これまで住んできた場所ではこういったものを見る機会はほとんどなかった為、横須賀ならではの個性を感じます。
- ・ 横須賀市美術館での企画は、興味を引くものが多く、また建物自体も価値があるものなので、市内外人が多く来ているような気がします。美術館の周りの桜やアジサイ、また周辺の散策コースなどもアピールするとさらに良いと思います。
- ・ 「美術館で、いろいろな催し物をしている。」
- ・ 「田浦地方の空き家の有効活用が良いと思う。」

⑤歴史を活用した取り組み（98件）

- ・ 今まで気づけなかった歴史的建造物にスポットをあてて、広報などに紹介しているので、そう感じる。
- ・ 横須賀の歴史、郷土と取り組まれ、紹介、解説する記事、PR誌によく触れる。解りやすく楽しい。
- ・ 先人から受け継いだ歴史を大切に地域の内外にアピールし、観光客や定住する人が増えて行くと良いと思います。
- ・ 横須賀の歴史にまつわるアニメやゲームのファンが観光に来ているのをよく見かけるから。

- ・ 数年前テレビドラマで三浦一族関係が出て来ましたが、今だに興味のある人がハイキングしがてら、商店街中のマップを見たりしています。中央周辺にも色々と関係するマップを飾ってほしいですネ。
- ・ 三浦一族に焦点を当てた講座やフィールドワーク的な取り組みがある。大矢部に市の公園を開設する計画が進んでいるらしいので。
- ・ 横須賀は、東国唯一の貿易港として栄えた歴史があり、また開国の地でもあり、取り組みに期待したい。
- ・ 横須賀の歴史を知ること、昔の人がどんな経験をしてきたのか、この先人生を充実させるにはどうしたら良いか学べるから。また、ペリーなどの特色？を前面に出してアピールできるから。
- ・ 郷土についての関心が生まれる。ただ…その取り組みが「市全体で」とは感じられないのですが…。2027年度のNHK大河ドラマは、市としてのチャンスですね。早々に様々な整備をして、観光客の受け入れができれば市民としてもうれしく思います。
- ・ 浦賀ドッグで行なわれたイベントは興味深かった。歴史ある街に住む誇りが生まれました。三浦あんじんに関する市民へのイベントを開催してほしい。
- ・ ペリー来航など、若い子達は学校で勉強したりするけど、その時の人の声など詳しいことは分からないでも、再現や物を置いたり、当時の声など音など、伝える人達がいなくなると段々と忘れてしまうでも、ちゃんと保管されて、今の子達にも伝わっている
- ・ 三浦一族やペリーなど歴史の教科書に出てくる史実に基づく取り組みは横須賀の財産であり後世に残していきたい事柄なので興味深いうえに良い影響となっていると考える
- ・ ルートミュージアムの活用で横須賀の知名度が向上している。
- ・ ヴェルニー記念館でのボランティアさんの活動。

⑥地域のつながりを深めるための取り組み（51件）

- ・ 地域別にコーディネータを決めて草の根活動で地域活性化の活動支援をして居る。
- ・ ①皆さんで、ゴミを集めているのを何回か見ております。②夜「火の用心」等、数人の方が、街を回っていらっしゃる事。
- ・ このアンケート内容にも、地域のつながりがあるか、などの調査されていたり、街の掲示板などで、いろんな催し物の集まりをしているのをよく目にします。とても大事なことだと思います
- ・ コミュニティセンターで色々な集まりがある。
- ・ コミュニティーセンターを活用した地域の取り組み行事がある。
- ・ 地元のお店が出るマルシェなどがあるため。
- ・ 放課後子ども教室を全校設置という記事をみたから。どの程度利用できるのかはわからないが、取り組みとして良いと思った。
- ・ 繋がりを深めることにより災害時の助け合いが広い規模で起きそうだから

- ・ 地域の人たちの交流の場を設けることで、それが治安の良さに繋がっているのではないかと思う

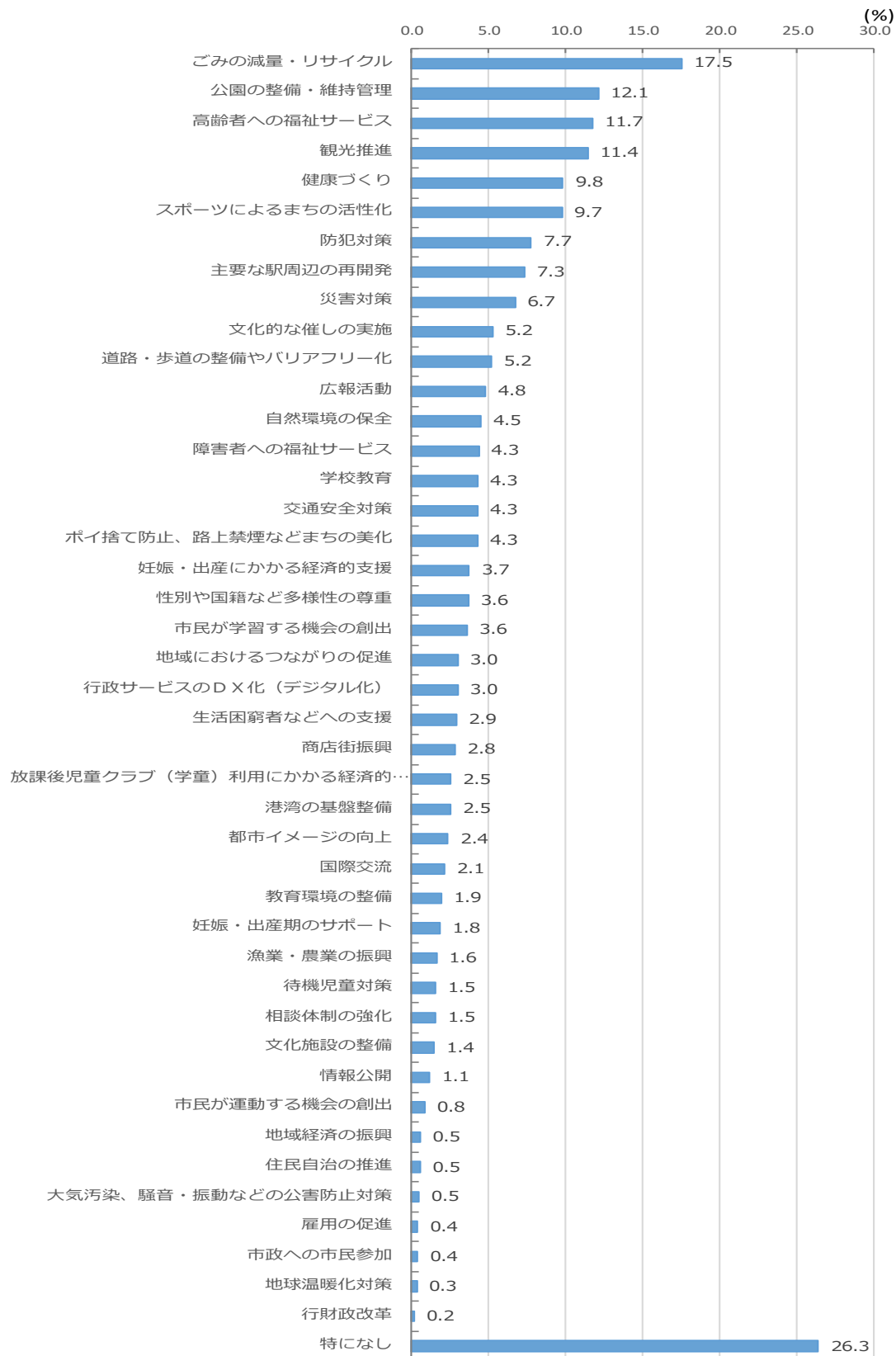
⑦特になし（198 件）

- ・ 取り組みを知らない
- ・ 何も感じたことがない。
- ・ 良い方向に進んでいるのか、あまり実感がないから。
- ・ 何をしているのかよくわからないが不便に思ったことはない。
- ・ 自然が多い三浦半島にあって昔から軍港の街というイメージが強くそれ以外の事はあまり感じられない。
- ・ カレー等食は発信しているかもしれないが、⑤の歴史を活用した取り組みが中途半端な感じ。横須賀は歴史はあるのにもったい無い！！
- ・ 基地だけの町と思われていないか？たくさんの歴史をもっともっと押し出したらどうか！それには桜の名所を増やすとか自然と歴史を組合せたらいいかが！
- ・ 地域で配布されている「はまかぜ」など確認している余裕が平日も休日も現状ないため。役所に行くことがほとんどないため。
- ・ 老人に対しての色々な取り組みが少なくなり例えばサークル、趣味の会等への面が縮小しています。元気に動いている老人は介護保険等も使っていないのでそのぶん考えてほしいと思います。

問 19 以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが十分に行われていると思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。(○は3つまで)

- 「ごみの減量・リサイクル」(17.5%)、「公園の整備・維持管理」(12.1%)、「高齢者への福祉サービス」(11.7%)、「観光推進」(11.4%)が続く。ごみや福祉サービスなど、日々の暮らしに関わる施策が上位に挙げられているなかで、観光やスポーツなどの施策も評価されていることが特徴としていえる。
- 一方で、特に「地域経済の振興」「雇用の促進」「漁業・農業の振興」など、経済的な側面に関する項目や「行財政改革」「住民自治の推進」「市政への市民参加」といった、行政運営に関する項目が低い結果となった。

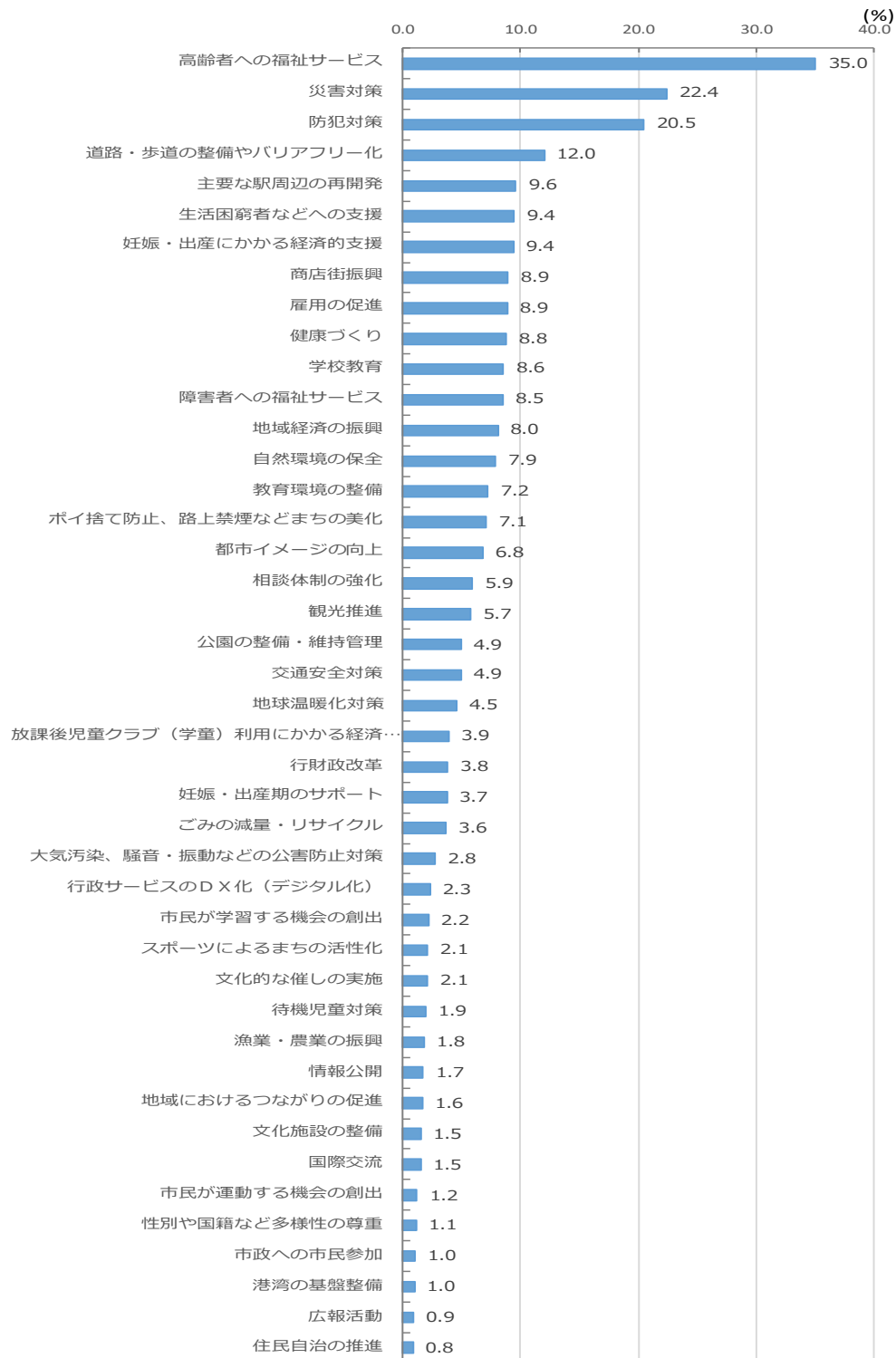
問 19. 十分に行われていると思う取り組み (N=1,317 人)



問 2 0 以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが特に力を入れてほしいと思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。(〇は3つまで)

- 上位は、「高齢者への福祉サービス」(35.0%)、「災害対策」(22.4%)、「防犯対策」(20.5%)、「道路・歩道の整備やバリアフリー化」(12.0%)といった、暮らしの安全や安心につながる取り組みが選択されている。

問 20. 特に力を入れてほしいと思う取り組み (N=1,344 人)



【年齢区分×特に力を入れてほしいと思う取り組み】

- 年代別に見ると、30代以下の若い世代では「妊娠・出産にかかる経済的支援」「教育環境の整備」「学校教育」など、子育て・教育支援へのニーズが高い。特に20代では「妊娠・出産にかかる経済的支援」が30.7%で最も高く、出産・子育てに伴う経済的負担の軽減を求める意識が強いことがうかがえる。
- 一方、50代以降では「高齢者への福祉サービス」が最も高く、年代が上がるほど割合も高くなっている。70代では51.7%、80代では61.4%と6割を超えており、高齢者が安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実が、特に高齢の世代にとって重要であることが分かる。
- また、30代以上の多くの年代で「災害対策」や「防犯対策」が上位に入っており、安全・安心に関わる施策は幅広い年代に共通している。

	20代以下 (150人)	%	30代 (135人)	%	40代 (168人)	%	50代 (186人)	%	60代 (217人)	%	70代 (259人)	%	80代 (210人)	%
1位	妊娠・出産にかかる経済的支援	30.7	災害対策	25.2	災害対策	26.8	高齢者への福祉サービス	32.3	高齢者への福祉サービス	36.9	高齢者への福祉サービス	51.7	高齢者への福祉サービス	61.4
2位	教育環境の整備	16.7	妊娠・出産にかかる経済的支援	22.2	学校教育	20.2	防犯対策	23.1	防犯対策	24.9	災害対策	23.9	災害対策	21.0
3位	主要な駅周辺の再開発	16.7	防犯対策	17.8	高齢者への福祉サービス	19.6	災害対策	21.0	災害対策	24.4	防犯対策	21.2	防犯対策	20.0
4位	学校教育	16.0	学校教育	13.3	防犯対策	19.0	雇用の促進	15.6	雇用の促進	13.4	道路・歩道の整備やバリアフリー化	15.1	健康づくり	17.1
5位	妊娠・出産期のリポート	15.3	妊娠・出産期のリポート	12.6	主要な駅周辺の再開発	16.1	道路・歩道の整備やバリアフリー化	10.8	道路・歩道の整備やバリアフリー化	12.4	健康づくり	13.1	道路・歩道の整備やバリアフリー化	16.7
	—		主要な駅周辺の再開発	12.6	商店街振興	16.1	地域経済の振興	10.8	—		—		—	

3. 基本的な属性

(1) 性別 (F1)

	件数 (人)	構成比 (%)
男性	627	43.2
女性	785	54.0
その他	3	0.2
無回答	38	2.6
全体	1,453	100.0

(2) 年齢 (F2)

	件数 (人)	構成比 (%)
10代	53	3.6
20代	100	6.9
30代	142	9.8
40代	172	11.8
50代	201	13.8
60代	227	15.6
70代	282	19.4
80代	255	17.5
無回答	21	1.4
全体	1,453	100.0

(3) 居住地域 (F3)

	件数 (人)	構成比 (%)
本庁地域	223	15.3
追浜地域	111	7.6
田浦地域	68	4.7
逸見地域	39	2.7
衣笠地域	210	14.5
大津地域	149	10.3
浦賀地域	163	11.2
久里浜地域	195	13.4
北下浦地域	124	8.5
西地域	150	10.3
無回答	21	1.4
全体	1,453	100.0

(4) 結婚の有無 (F4)

	件数 (人)	構成比 (%)
結婚している	746	51.3
結婚していた	316	21.7
結婚したことはない	373	25.7
無回答	18	1.2
全体	1,453	100.0

(5) 世帯構成 (F5)

	件数 (人)	構成比 (%)
一人暮らし	331	22.8
夫婦のみ	421	29.0
親と子 (2世代)	502	34.5
祖父母と親と子 (3世代)	68	4.7
その他	100	6.9
無回答	31	2.1
全体	1,453	100.0

(6) 同居状況 (複数回答) (F6)

	件数 (人)	構成比 (%)
未就学児	54	3.7
小学生	74	5.1
中学生	65	4.5
高校生等	82	5.6
大学生等 (大学・大学院・短大・専門学校等)	65	4.5
社会人・アルバイト等	513	35.2
65～74歳の方	166	11.4
75歳以上の方	252	17.3
その他	43	2.9
無回答	145	9.9
全体	1,459	100.0

(7) 住宅形態 (F7)

	件数 (人)	構成比 (%)
持ち家 (一戸建)	870	59.9
持ち家 (マンションなどの集合住宅)	249	17.1
賃貸住宅 (一戸建)	50	3.4
賃貸住宅 (マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	171	11.8
市営住宅や県営住宅などの公営住宅	44	3.0
社宅・寮・公務員住宅	27	1.9
その他	18	1.2
無回答	24	1.7
全体	1,453	100.0

(8) 職業 (F8)

	件数 (人)	構成比 (%)
自営業主	50	3.4
自営業の手伝い (家族従業者)	20	1.4
会社などの経営者・役員	23	1.6
正社員・正職員	364	25.1
パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員 (正社員・正職員以外)	308	21.2
主婦・主夫 (家業専業)	187	12.9
学生	69	4.7
無職	368	25.3
その他	36	2.5
無回答	28	1.9
全体	1,453	100.0

4. 調査票

「横須賀市民アンケート」ご協力をお願い

横須賀市では、「横須賀再興プラン（2022～2025）」に基づき、市が持つ地域の魅力や特性を生かして、将来に向けて希望や期待の持てるまちの実現を目指しています。

今回お送りしたアンケートは、市民の皆さまの生活意識や横須賀市の取り組みに対する実感をお伺いし、今後の取り組みの参考にさせていただくために実施するものです。

本調査の趣旨にご理解を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年（2025年）4月

横須賀市長

上地克明

回答目安時間 10～15 分程度

皆さんの声をお聞かせください！

○調査について

- ・調査は、無記名で実施します。
また、調査票はランダムに封入しているため、回答者が特定されることは一切ありません。
- ・調査票は、住民基本台帳（2025年1月1日現在）から無作為に抽出した15歳以上の3,000人の皆さまにお送りしています。調査結果は、後日、市ホームページなどで公表します。

○回答方法について

次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

① 調査票（この冊子）で回答

- ・設問ごとに「○は1つ」などと指定していますので、あてはまる番号に○を付けてください。
- ・調査票（この冊子）は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。
※表紙（この紙）は取らずに、このまま投函をお願いします。

② パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

【オンライン回答ページ（e-kanagawa 電子申請システム）】

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList_detail?tempSeq=94665

- ・ブラウザのURL欄に上記URLを入力して画面を開いてください。
（スマートフォンからは、右のQRコードを読み取ってアクセスできます。）
- ・回答の際は、はじめに以下の「オンライン回答用パスワード」を入力してください。

オンライン回答用パスワード



4月27日（日）まで に、ご回答（ご投函）をお願いいたします。

○お問い合わせ先

この調査に関するご不明な点は、下記部署までお問い合わせください。

横須賀市 経営企画部 都市戦略課

Tel 046 (822) 9784 Fax 046 (822) 9285

Email upi-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

■はじめに、あなた自身のことについてお伺いします

統計上、必要なものですので、全ての方がお答え下さいますようお願いいたします。

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

※身体上、戸籍上の性別に関わらず、ご自身が認識しているものを選んでください。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

F 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1 15～19 歳	2 20～24 歳	3 25～29 歳	4 30～34 歳	5 35～39 歳
6 40～44 歳	7 45～49 歳	8 50～54 歳	9 55～59 歳	10 60～64 歳
11 65～69 歳	12 70～74 歳	13 75～79 歳	14 80～84 歳	15 85 歳以上

F 3 あなたのお住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

(以下の地域別一覧表をご参照ください。)

1 本庁地域	2 追浜地域	3 田浦地域	4 逸見地域	5 衣笠地域
6 大津地域	7 浦賀地域	8 久里浜地域	9 北下浦地域	10 西地域

地域別一覧表

(地域別)	(町 名)
① <u>本庁地域</u>	稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町
② <u>追浜地域</u>	浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台
③ <u>田浦地域</u>	田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘
④ <u>逸見地域</u>	安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町
⑤ <u>衣笠地域</u>	阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎
⑥ <u>大津地域</u>	池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸
⑦ <u>浦賀地域</u>	浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀、二葉、南浦賀、吉井
⑧ <u>久里浜地域</u>	岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台
⑨ <u>北下浦地域</u>	栗田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘
⑩ <u>西地域</u>	秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台

F 4 あなたは結婚していますか。(内縁・事実婚含む)(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 結婚している(配偶者あり) |
| 2 結婚していた(配偶者と離別または死別) |
| 3 結婚したことはない |

F 5 あなたが同居している家族の構成は、次のどれに当たりますか。あなたを含めてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1 一人暮らし ➡ <u>F 7へ</u> | 4 祖父母と親と子(3世代) |
| 2 夫婦のみ | 5 その他 |
| 3 親と子(2世代) | () |

F 6 同居者がいる方だけにお尋ねします。同居している方の中で、以下に当てはまる方はいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1 未就学児 | 6 社会人・アルバイト等 |
| 2 小学生 | 7 65～74歳の方 |
| 3 中学生 | 8 75歳以上の方 |
| 4 高校生等 | 9 その他 |
| 5 大学生等(大学・大学院・短大・専門学校等) | () |

F 7 あなたの現在のお住まいは、次の選択肢の中のどれに当たりますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 持ち家(一戸建) | 5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅 |
| 2 持ち家(マンションなどの集合住宅) | 6 社宅・寮・公務員住宅 |
| 3 賃貸住宅(一戸建) | 7 その他 |
| 4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅) | |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1 自営業主 | 6 主婦・主夫(家業専業) |
| 2 自営業の手伝い(家族従業者) | 7 学生 |
| 3 会社などの経営者・役員 | 8 無職 |
| 4 正社員・正職員 | 9 その他 |
| 5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外) | |

I 定住意識について伺います

問1 あなたは、横須賀市に通算でどのくらいの期間住んでいますか。 ○は1つ

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 1年未満 | 5 20年以上 30年未満 |
| 2 1年以上 5年未満 | 6 30年以上 40年未満 |
| 3 5年以上 10年未満 | 7 40年以上 50年未満 |
| 4 10年以上 20年未満 | 8 50年以上 |

問2 横須賀市に住む前は、どちらにお住まいでしたか。 ○は1つ

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 1 生まれてからずっと横須賀市に住んでいる | 5 川崎市 |
| 2 三浦市 | 6 その他神奈川県内 |
| 3 鎌倉市、逗子市、葉山町 | 7 東京都・埼玉県・千葉県 |
| 4 横浜市 | 8 その他
(.....道・府・県.....市・区・町・村) |

問3 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。 ○は1つ

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 暮らしやすい | 4 どちらかという暮らしにくい |
| 2 どちらかという暮らしやすい | 5 暮らしにくい |
| 3 どちらともいえない | |

問4 あなたは、これからも横須賀市に住み続けたいと思いますか。 ○は1つ

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 1 住み続ける | 3 たぶん転居する | 5 わからない |
| 2 たぶん住み続ける | 4 転居する | |

↓
問4-1へ

↓
問4-2、4-3へ

↓
問5へ

【問4で、「1 住み続ける」、「2 たぶん住み続ける」を選んだ方のみ回答してください】

問4－1 横須賀市に「住み続ける」「たぶん住み続ける」を選んだ理由は何ですか。

○は2つまで

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1 交通の便が良い | 9 自然が豊か |
| 2 働く場所がたくさんある | 10 子育てをしやすい |
| 3 親・親族が近くに住んでいる | 11 教育環境がよい |
| 4 食料品や日用品などの買い物に便利 | 12 近所や友人などの人間関係がよい |
| 5 街のイメージがよい | 13 高齢者が暮らしやすい |
| 6 ショッピングモールなど大型商業施設が充実している | 14 住宅価格・家賃が安い |
| 7 治安が良い | 15 公共施設、公園、道路などの都市基盤が整備されている |
| 8 災害への心配が少ない | |
| 16 その他（具体的に.....） | |

【問4で、「3 たぶん転居する」、「4 転居する」を選んだ方のみ回答してください】

問4-2 仮に引っ越すとしたら、どこを希望されますか。 ○は1つ

1 具体的に.....都・道・府・県.....市・区・町・村	2 希望はない
--------------------------------	---------

問4-3 横須賀市から「転居する」「たぶん転居する」を選んだ理由は何ですか。

○は2つまで

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 交通の便が悪い | 9 自然が少ない |
| 2 働く場所が少ない | 10 子育てをしにくい |
| 3 親・親族の近くに住みたい | 11 教育環境が不満 |
| 4 食料品や日用品などの買い物に不便 | 12 近所や友人などの人間関係が良くない |
| 5 街が衰退しているイメージがある | 13 高齢者には暮らしにくい |
| 6 ショッピングモールなど大型商業施設が充実していない | 14 住宅価格・家賃が高い |
| 7 治安が良くない | 15 公共施設、公園、道路などの都市基盤が整備されていない |
| 8 災害が不安 | |
| 16 その他（具体的に.....） | |

Ⅱ 近所の方や地域との付き合いなど地域コミュニティについて伺います

問5 あなたは、近所の方々と普段どのようなつき合い方をしていますか。 ○は1つ

- 1 顔もよく知らない
- 2 道で会えば挨拶ぐらいする
- 3 たまに立ち話をする
- 4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている
- 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする

問6 あなたは、近所の方々とのかつき合いをどのように感じていますか。 ○は1つ

- 1 親しい人間関係があって暮らしやすい
- 2 適度な人間関係があって暮らしやすい
- 3 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 4 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 5 人間関係が濃く、煩わしい

問7 あなたは、現在、地域でどのような活動に参加していますか。 ○はいくつでも

- 1 自治会、町内会の活動
- 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 4 身近な道路や公園などの清掃活動
- 5 文化・芸術活動
- 6 スポーツや健康づくりの活動
- 7 祭や盆踊り、運動会などのイベント
- 8 PTA 活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど
- 9 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 10 その他（具体的に)
- 11 特になし

問8 あなたは、今後、地域との関わりをより深めたいと思っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。 ○は1つ

- 1 深めたい
- 2 まあ深めたい
- 3 このままでよい
- 4 あまり深めたくない
- 5 深めたくない

Ⅲ 生活意識について伺います

問9 あなたは、以下の、生活に関するさまざまな分野における満足の度合いについて、「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。 ○はそれぞれ1つ

	非常に満足 している  全く満足 していない										
【回答例】満足度が7点の場合	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
① 家計と資産	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
② 雇用環境と賃金	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
③ 住宅	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
④ 仕事と生活 (ワークライフバランス)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑤ 健康状態	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑥ あなたご自身の教育水準・ 教育環境	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑦ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑧ 生活を取り巻く空気や水などの 自然環境	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑨ 身の周りの安全	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑩ 子育てのしやすさ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
⑪ 介護のしやすさ・されやすさ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問10 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。 ○は1つ

	非常に満足 している  全く満足 していない										
現在の生活全体の満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問11 問10でお伺いした「現在の生活全体の満足度」を判断する際に、重視した事項は何ですか。第1位から第3位の順に、それぞれ1つずつ選んで、番号をお書きください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ① 家計と資産 | ⑦ 交友関係やコミュニティなど社会とのつながり |
| ② 雇用環境と賃金 | ⑧ 生活を取り巻く空気や水などの自然環境 |
| ③ 住宅 | ⑨ 身の周りの安全 |
| ④ 仕事と生活（ワークライフバランス） | ⑩ 子育てのしやすさ |
| ⑤ 健康状態 | ⑪ 介護のしやすさ・されやすさ |
| ⑥ あなたご自身の教育水準・教育環境 | |

〈回答欄〉

第1位	第2位	第3位

問12 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。 ○は3つまで

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------------|
| 1 | 自分の病気や健康のこと | 10 | 学校・勉強のこと |
| 2 | 自分の老後のこと | 11 | 進路・就職のこと |
| 3 | 家族の病気や健康などのこと | 12 | 子どもの保育や教育のこと |
| 4 | 失業・倒産や収入が減ること | 13 | 子どもの将来のこと |
| 5 | 仕事や職場のこと | 14 | 環境問題 |
| 6 | 景気や生活費のこと | 15 | 住宅のこと |
| 7 | 事故や災害のこと | 16 | その他（ ） |
| 8 | 犯罪や防犯のこと | 17 | 心配ごとや困っていることはない |
| 9 | 近隣からの悪臭・騒音 | | |

IV 幸福度（幸せの実感）について伺います

問13 現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。 ○は1つ

	とても幸せ  とても不幸										
現在の幸せの程度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問14 幸福感を判断する上で、あなたが重視したのはどんなことですか。
次の中から重要だと思うものを選んでください。 ○は3つ

1	健康
2	人間関係
3	仕事
4	収入・家計
5	生活環境
6	余暇
7	自己成長
8	社会貢献

問15 以下の各項目について、あなたの実感に一番近いものに○をつけてください。

○はそれぞれ1つ

		当ては まる	ある程 度当て はまる	どちら とも言 えない	あまり 当ては まらない	当ては まらない
1	健康状態が良い（身体面）	5	4	3	2	1
2	健康状態が良い（精神面）	5	4	3	2	1
3	家族関係が良い	5	4	3	2	1
4	恋人やパートナーとの関係が良い	5	4	3	2	1
5	友人関係が良い	5	4	3	2	1
6	近所や地域の人との関係が良い	5	4	3	2	1
7	仕事や学校での人間関係が良い	5	4	3	2	1
8	就業状況が良い（仕事の有無・安定）	5	4	3	2	1
9	仕事にやりがいを感じる	5	4	3	2	1
10	ワークライフバランスが保てている	5	4	3	2	1
11	経済的に生活にゆとりがある	5	4	3	2	1
12	精神的に生活にゆとりがある	5	4	3	2	1
13	自分の欲しいものにお金を使うことができる	5	4	3	2	1
14	住まいに満足している	5	4	3	2	1
15	食生活に満足している	5	4	3	2	1
16	日常の衣服に満足している	5	4	3	2	1
17	身近に自然を感じられる	5	4	3	2	1
18	趣味や夢中になれるものがある	5	4	3	2	1
19	自由に使える時間がある	5	4	3	2	1
20	目標に向かって努力していることがある	5	4	3	2	1
21	自分の能力やスキルを高めるために取り組んでいることがある	5	4	3	2	1
22	身近に頼れる人がいる	5	4	3	2	1
23	人から頼りにされていると思う	5	4	3	2	1

V 横須賀市の主な取り組みについて伺います

横須賀市では今、地域の魅力や特性を最大限に活用した取り組みを進めています。こうした取り組みに対する皆さまの認知度や実感についてお伺いします。

問16 あなたは、横須賀市の次のような取り組みについて知っていますか。

○はそれぞれ1つ

番号	地域の魅力や特性を活用した取り組み	1 知っている	2 知らない
①	海を活用した取り組み	1	2
②	音楽を活用した取り組み	1	2
③	スポーツを活用した取り組み	1	2
④	アート・芸術を活用した取り組み	1	2
⑤	歴史を活用した取り組み	1	2
⑥	地域のつながりを深めるための取り組み	1	2

問17 今の横須賀市で、次の取り組みが進んでいる実感はありますか。

○はそれぞれ1つ

番号	地域の魅力や特性を活用した取り組み	1 ある	2 どちらか といえば ある	3 どちらと もいえな い	4 あまり ない	5 ない	6 わから ない
①	海を活用した取り組み	1	2	3	4	5	6
②	音楽を活用した取り組み	1	2	3	4	5	6
③	スポーツを活用した取り組み	1	2	3	4	5	6
④	アート・芸術を活用した取り組み	1	2	3	4	5	6
⑤	歴史を活用した取り組み	1	2	3	4	5	6
⑥	地域のつながりを深めるための取り組み	1	2	3	4	5	6

問18 次の取り組みの中で、横須賀全体に、良い影響を与えていると感じるものを選んでください。 〇は1つ また、その理由もお答えください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ① 海を活用した取り組み | ⑤ 歴史を活用した取り組み |
| ② 音楽を活用した取り組み | ⑥ 地域のつながりを深めるための取り組み |
| ③ スポーツを活用した取り組み | ⑦ 特になし |
| ④ アート・芸術を活用した取り組み | |

理由

--

問19 以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが十分に行われていると思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。 ○は3つまで

- 1 妊娠・出産にかかる経済的支援
- 2 妊娠・出産期のサポート
- 3 待機児童対策
- 4 放課後児童クラブ（学童）利用にかかる経済的負担の軽減
- 5 学校教育
- 6 教育環境の整備
- 7 高齢者への福祉サービス
- 8 障害者への福祉サービス
- 9 生活困窮者などへの支援
- 10 相談体制の強化
- 11 健康づくり
- 12 地域におけるつながりの促進
- 13 防犯対策
- 14 交通安全対策
- 15 災害対策
- 16 主要な駅周辺の再開発
- 17 道路・歩道の整備やバリアフリー化
- 18 港湾の基盤整備
- 19 公園の整備・維持管理
- 20 地域経済の振興
- 21 雇用の促進
- 22 商店街振興
- 23 漁業・農業の振興
- 24 観光推進
- 25 スポーツによるまちの活性化
- 26 文化的な催しの実施
- 27 文化施設の整備
- 28 市民が学習する機会の創出
- 29 市民が運動する機会の創出

- 30 自然環境の保全
- 31 大気汚染、騒音・振動などの公害防止対策
- 32 ごみの減量・リサイクル
- 33 ポイ捨て防止、路上禁煙などまちの美化
- 34 地球温暖化対策
- 35 性別や国籍など多様性の尊重
- 36 市政への市民参加
- 37 住民自治の推進
- 38 広報活動
- 39 情報公開
- 40 都市イメージの向上
- 41 国際交流
- 42 行財政改革
- 43 行政サービスの DX 化（デジタル化）
- 44 特になし

その他（自由記入） ※上記以外の取り組みがあればお書きください。

〔

〕

問20 以下の横須賀市の取り組みのうち、あなたが特に力を入れてほしいと思うものはどれですか。あてはまるものを選んでください。 ○は3つまで

- 1 妊娠・出産にかかる経済的支援
- 2 妊娠・出産期のサポート
- 3 待機児童対策
- 4 放課後児童クラブ（学童）利用にかかる経済的負担の軽減
- 5 学校教育
- 6 教育環境の整備
- 7 高齢者への福祉サービス
- 8 障害者への福祉サービス
- 9 生活困窮者などへの支援
- 10 相談体制の強化
- 11 健康づくり
- 12 地域におけるつながりの促進
- 13 防犯対策
- 14 交通安全対策
- 15 災害対策
- 16 主要な駅周辺の再開発
- 17 道路・歩道の整備やバリアフリー化
- 18 港湾の基盤整備
- 19 公園の整備・維持管理
- 20 地域経済の振興
- 21 雇用の促進
- 22 商店街振興
- 23 漁業・農業の振興
- 24 観光推進
- 25 スポーツによるまちの活性化
- 26 文化的な催しの実施
- 27 文化施設の整備
- 28 市民が学習する機会の創出
- 29 市民が運動する機会の創出

- 30 自然環境の保全
- 31 大気汚染、騒音・振動などの公害防止対策
- 32 ごみの減量・リサイクル
- 33 ポイ捨て防止、路上禁煙などまちの美化
- 34 地球温暖化対策
- 35 性別や国籍など多様性の尊重
- 36 市政への市民参加
- 37 住民自治の推進
- 38 広報活動
- 39 情報公開
- 40 都市イメージの向上
- 41 国際交流
- 42 行財政改革
- 43 行政サービスのDX化（デジタル化）

その他（自由記入） ※上記以外の取り組みがあればお書きください。

[]

《調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。》